



愛妻[♡]と脳にやさしい(?)
寝取らせプレイ

はあ…疲れた…

ガ
ク
チャ
...

僕の名前は蓮水ユウ。
俗に言う社畜をしている。
最近はお世レースで拘束
される時間が長くなった…

だがそんな環境
でも頑張れる。

なぜなら…

おかえりなさい、あなた

ご飯にする？お風呂にする？
それとも…

これって…
新婚三択!?



ご、
ごめん
これ予想以上に
恥ずかし…w

無、無理…w
ツボりそう…w

えー…
残念…

愛する妻、リエナがいるからだ



結婚して2年。

リエナとは高校で出会い、同じ大学に進学、
そこで交際を経て卒業と同時に結婚した。



物怖じしない性格で尻に敷かれているが、
美人で明るくて優しくて…
優柔不断な僕を支えてくれる。

笑いのツボが浅いのも変わらないな…

じゃあお風呂先入って来ちゃおうかな
ご飯はその後食べるよ

はー…w

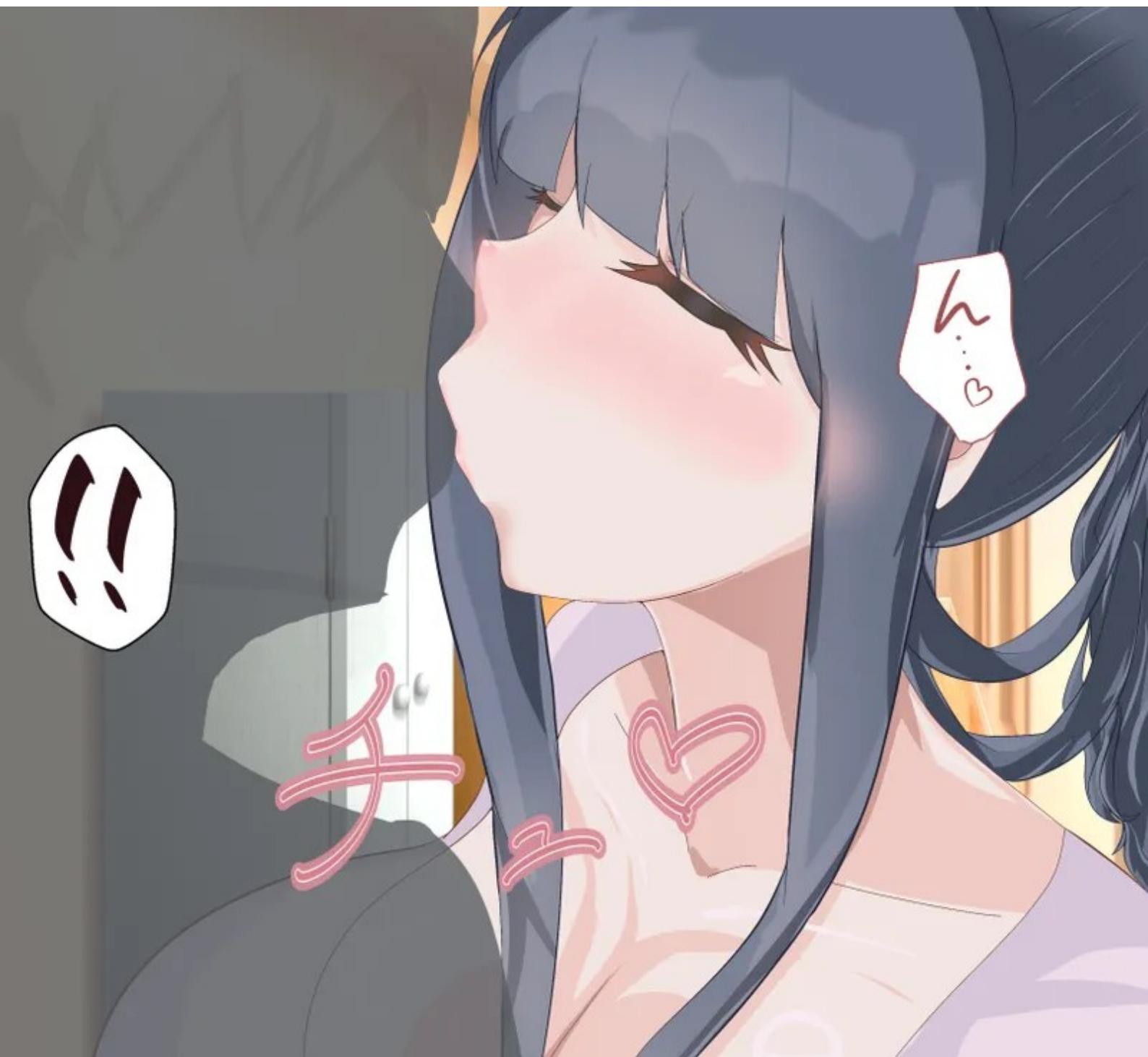
はー…w

わ、わかった
じゃあ準備しとく

うん、いつもありがとう

あ、ちよっと待って







おかえりの
チューー

次はあなたからしてね



なーんて…

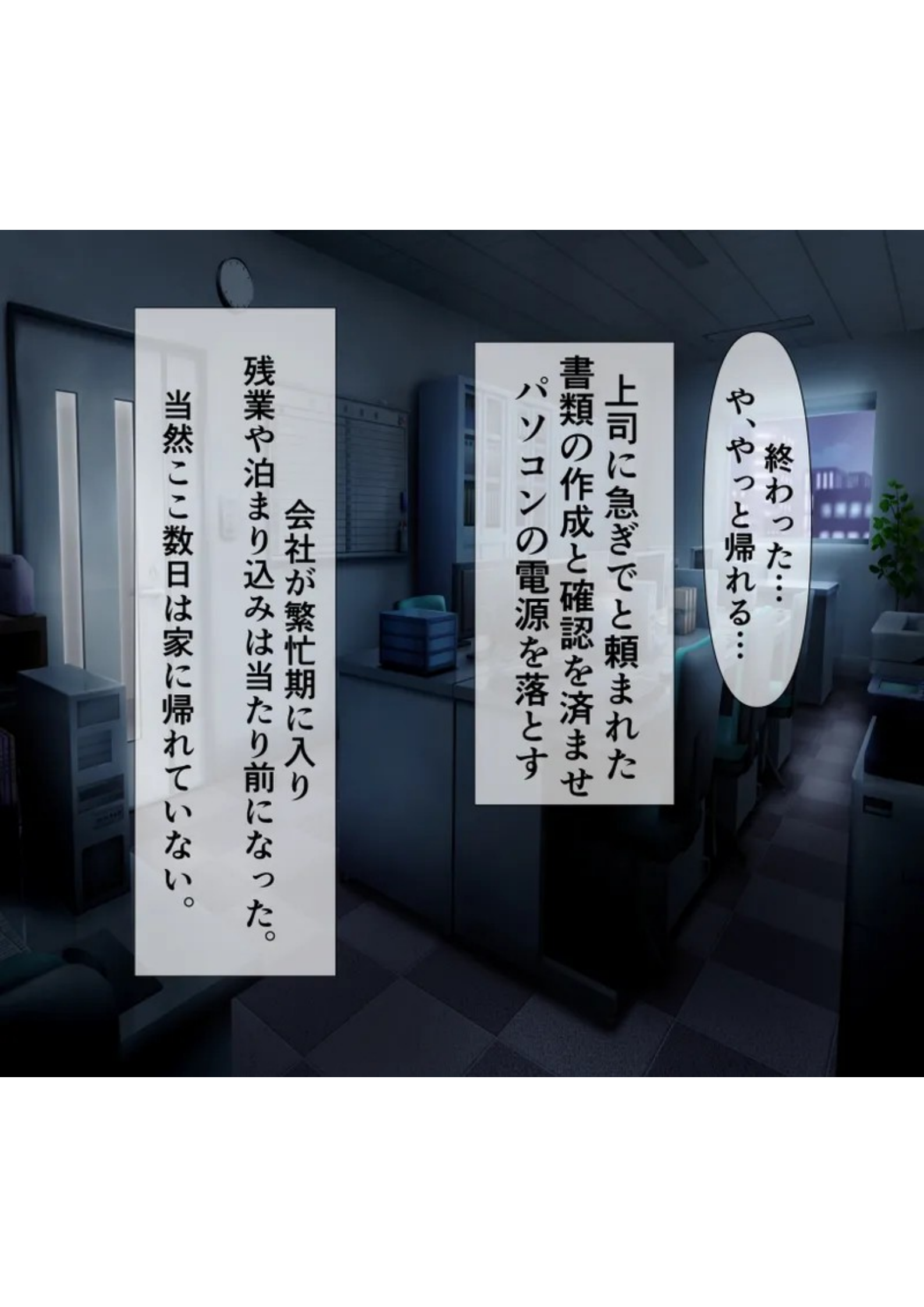
こっちのが恥ずかしいかw

リエナとのこんな日々が
ずっと続いていくんだ
僕はなんて幸せ者だろう

…そう思っていた。

あの日までは





終わった…
や、やっと帰れる…

上司に急ぎでと頼まれた
書類の作成と確認を済ませ
パソコンの電源を落とす

会社が繁忙期に入り
残業や泊まり込みは当たり前になった。
当然ここ数日は家に帰れていない。

そ、そういえば…リエナには
二十一時には帰れそうって言っちゃったんだっ…



仕事に手一杯で気が付かなかった…
申し訳ないな…

早く帰らないと…

23:46

応答なし

蓮水リエナ

パッ



まずい……相当怒ってる……

一応電話をかけて……

こ、怖いなあ〜……

お土産買っとくべきだったかな……

い、いや…物でご機嫌取りなんて…
ちゃんと謝らないと…

そんなことを考えながら僕は
音を立てないようにゆっくりとドアを開け
静かな声で「ただいま」と言った。



オカエリ

……た、ただいま……

ああ……青筋でるくらい怒ってる……
終わった……

ぜんぜんオコッテナイヨ

い、心読むのやめ……



あなたが帰ってくるって知ってから
気合い入れてご飯作ったり
しばらく玄関でソワソワしてたりしたただだよ

うぐっ…

でも9時には帰れそうって
言ってたのに随分遅かったねー連絡もなかったし

なんでだろうね？浮気かなー？
私もシチャおっかなー？

ぐ、ぐめんなさい…



：まあ家のために一生懸命頑張ってくれてるのは
わかってるし：仕事の都合もあるって
わかってるけど…

私もいろいろ準備ってものがあるし…

？
準備？





リエナ…っ
そんな派手なのいつ……

その前に言うことあるんじゃない？
ユー君？



っ…すぐくエツ……綺麗だ…似合ってる…

よく言えました
♥

……お仕事、大切なのはわかるけど

こんな美人な妻を放っておくと
他の誰かに奪られちゃうかもよ？

え…!?

指輪見せてるのにお構いなしに
ナンパしてくる人多いんだから…

な、なにそれ…！初耳なんだけど…！



言ってなかったっけ？
例えば…

リエナさん！おはようございます！

あら田中くん おはよ

さ、最近オープンした駅前の喫茶店…よければ一緒に…

行かないよ？

大学生の
田中君とか



数学の山田先生とか

蓮水先生お疲れ様です

ああ 山田先生、お疲れ様です
どうかなさいましたか？

ええ、偶然、本当偶然に蓮水先生の
好きな画家の画天正爺の
個展のチケットを貰ったので
休日私と一緒にどうかと！

なんで私の推しの画家
知ってるんですか？
教えた覚えはないですけど



あとは駅前ナンパ男とか

おねーさん！マジでタイプなんだけど！
マジで！！
五分間だけ！五分間だけ俺にください
おねえさん！無視しないで！



でも一番厄介なのは…

はあ…

はあ…

あと1周…

OH〜リエナさんじゃないですか〜!

!



あベン君
こんばんは

コンバンハリエナさん！
相変わらずお美しいデスネ！

あは君はまた日本語が上手くなったね

最近知り合った外国人のベン君かな



Yeah!
リエナさんの様なお美しい女性と
お話しスルために頑張ってマス!

ふふ 上手なのは日本語
だけじゃないみたいだね
いや元々かな?

あんまり誰彼構わずに
言っちゃダメだよ

どこが厄介なのかって?
うーんとね...





NO!

僕はリエナさんにしか
言ってます！

!?

ギュッ
キッ

すごく積極的な
ところかな



そそっか……
ありがとう……

私の手…ギュッと握られてね
すごく褒められちゃった
お世辞だってわかってても嬉しいね

それにあの子の身体大きくてすごく遅しくて…
自分がすごく小さく感じたの
私も女の中では割と大きい方なのにな

ゴク

あ ユー君に魅力がないって
言ってる訳じゃないから
安心してね



その後どうしたのか？

リエナさん
今度二人で私の友人が経営している
クラブに行きまSHOW

彼の友達が経営してるっていう
クラブに誘われたよ

約束します
必ず気に入るト

私の答えは
もちろん……



……

も、もちろん…なに?!

続きは…!!

急に話を止めるリエナ
聴き入っていた僕はリエナを急かすが…

ふふ 興奮しちゃって…

続き…そんなに気になるんだ?
自分の妻が浮気してるかもしれない
って話なのに…♡

っ………!



ベン君に言ったこと
教えてあげてもいいけど…

お、教えてあげても…何!?

ここだと寒いし
もっと暖かいところで話したいな

たとえば…ベッドとか♡

っ…!!



リエナ！

やあん♡

僕はリエナを
寝室に連れていった。

ふふ ちよつと煽っただけ
なのに随分激しかったね♡

ご じめん…つい…

ニヤ
ニヤ

嫉妬しちゃったかな？
可愛かったよユー君(笑)

クス
クス♡

う…

YES



そ…それで…?

ん?

だ だから…その…
ベン君になんて言ったの…?

あー 教えるって言ったもんね

う
うん…



.....はあ

ちゃんと断ったよ

ほ本当!?

本当。

ていうか本当に浮気シてたら何も言わくない?

そ...そうかもしれないけど...



こんなに美人でモテモテな奥様がいたら
不安でしょうがないもんね ユー君？

っ…っん…

お仕事、大変な時期ってわかってるけど…
あなた結構無茶するし心配してるの

!!

私も心配させないからあなたも
私のことあんまり不安にさせないでね

う、うん…！
わかったよ…！

じゃ ありがとう
私シャワー浴びてくるね



リエナの言う通りだ…
最近はずっと帰れなくて心配を
かけさせちゃったし…
これから早めに帰れるよう頑張ろう

さて…片付けを…

ん…？



なんだ……？これ……？

INVITATION



Ben

BBC CLUB

はあ……！

はあ……！

INVITATION



Ben

BBC CLUB

さっきの話にはこの招待状の話はなかった
ことで否応無しに最悪の展開が頭をよぎる……

ズキ…ズキ…



もしかしたら

もしかしたらリエナが…

僕に嘘について本当は浮気を…？

ま、そんな訳ないか…
これで終わり…つと

…
帰るか

カタ

カタ
ツタ



ん？

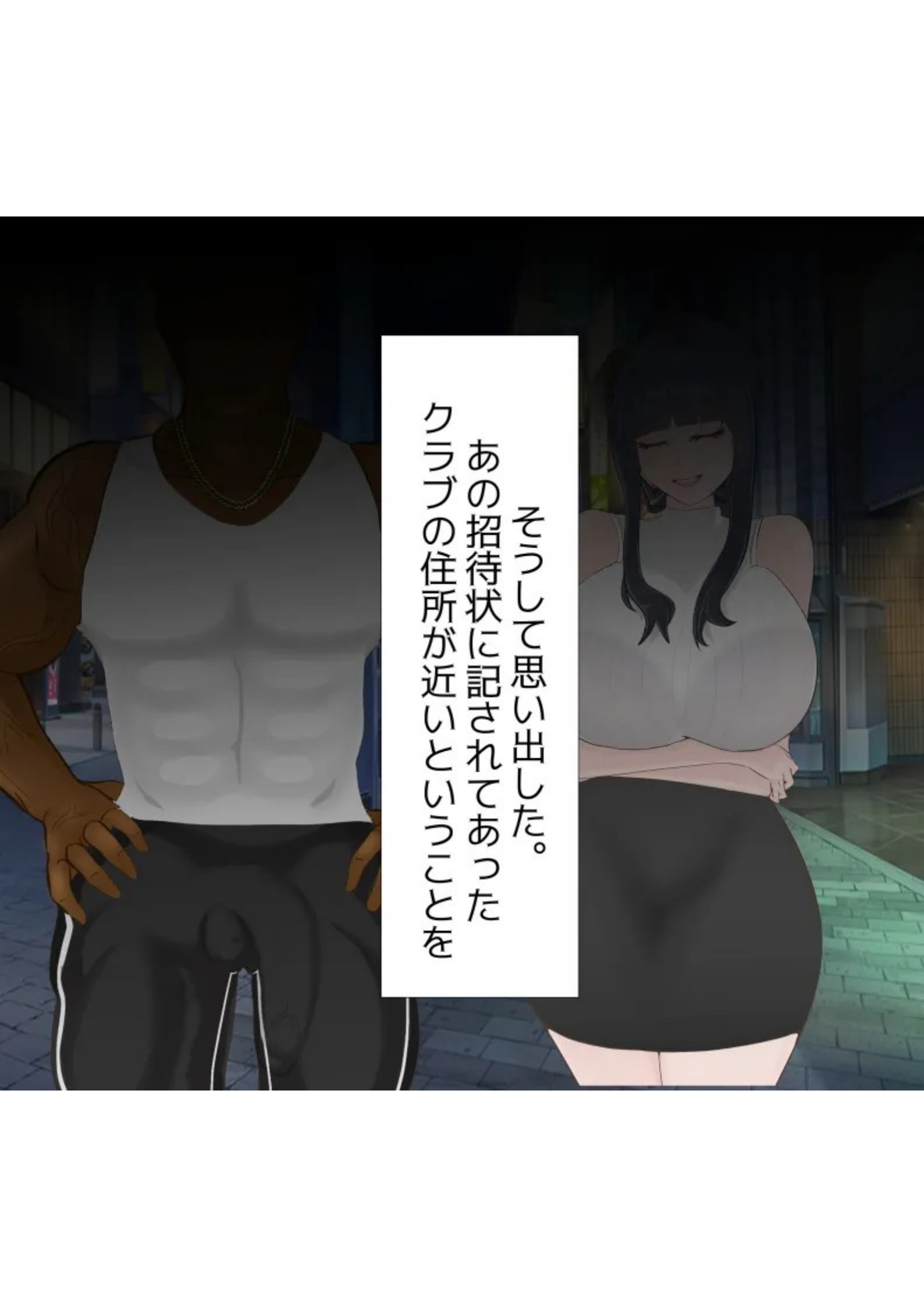
リエナの言葉がなかったら
今頃まだ会社だったろうな…



な、なんで…リエナが…隣の男は!?

楽しげに会話してい二人を
見て僕の頭は真っ白になった…



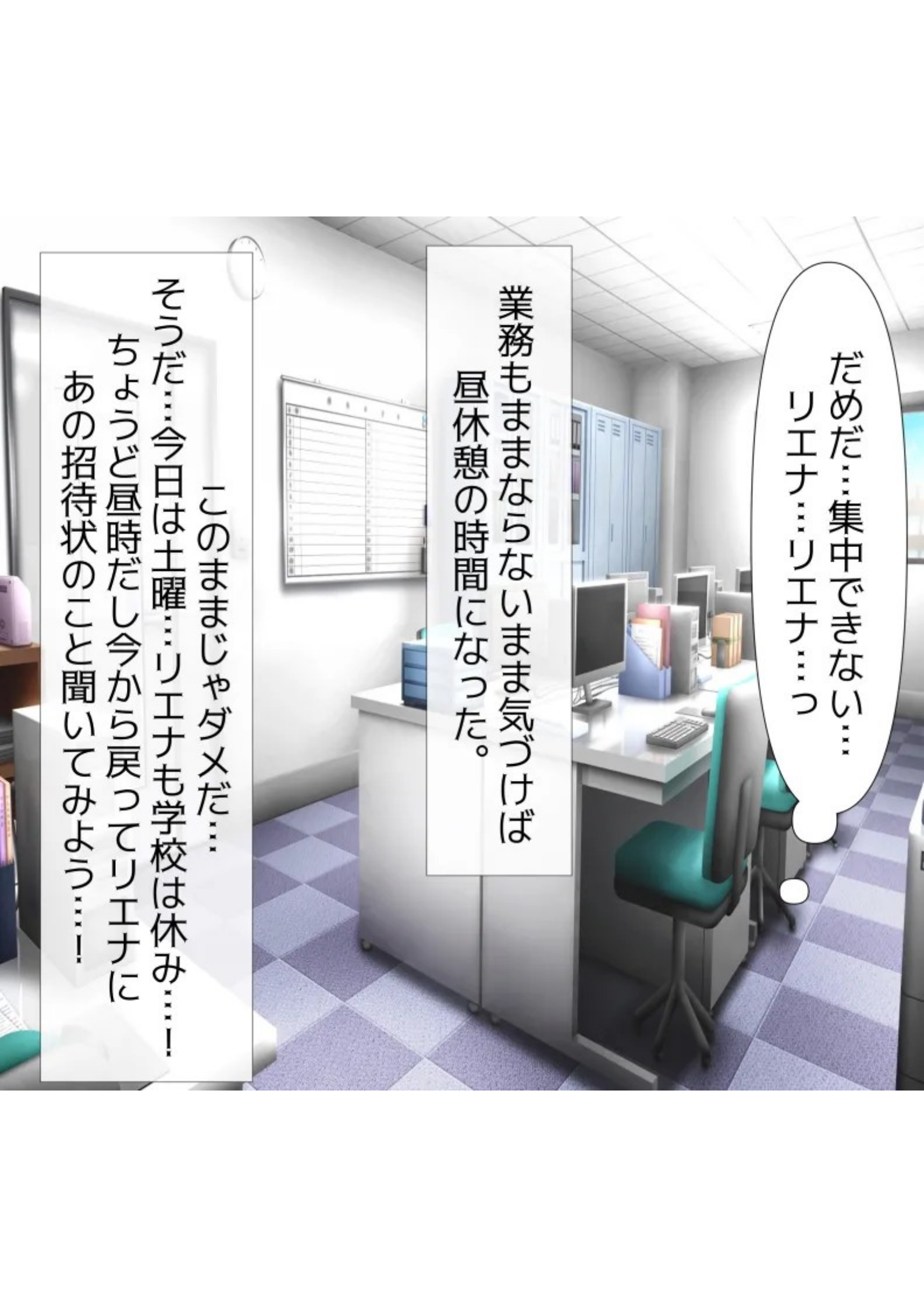
A man and a woman are standing on a city street at night. The man, on the left, is muscular and wearing a white tank top and black pants with white stripes. The woman, on the right, has long black hair and is wearing a white crop top and a black skirt. They are both looking towards the camera. The background shows a city street with buildings and a brick-paved sidewalk.

そうして思い出した。

あの招待状に記されてあった
クラブの住所が近いということ

結局あの後リエナに何も聞けなかった。
かろうじて笑顔を取り繕い家を出たが
会社では何も手につかなかった……





だめだ…集中できない…
リエナ…リエナ…っ

業務もままならないまま気づけば
昼休憩の時間になった。

このままじゃダメだ…
そうだ…今日は土曜…リエナも学校は休み…！
ちょうど昼時だし今から戻ってリエナに
あの招待状のこと聞いてみよう…！

発信中...

蓮水リエナ

Prrrrrr...



僕は会社を飛び出した。

応答なし

蓮水リエナ

ッー...

ッー...

×



はあ……！

はあ……！



あれ？あなた？

気が気じゃなかった。
それこそ周りが見えなくなるほどに

は、早く……！

はあ……！
はあ……！

リエナ!?

なんでここに...

買い物だけど...
そう言うあなたは?



か、買い物……？

うんあなたの好きなお肉
安かったから……って

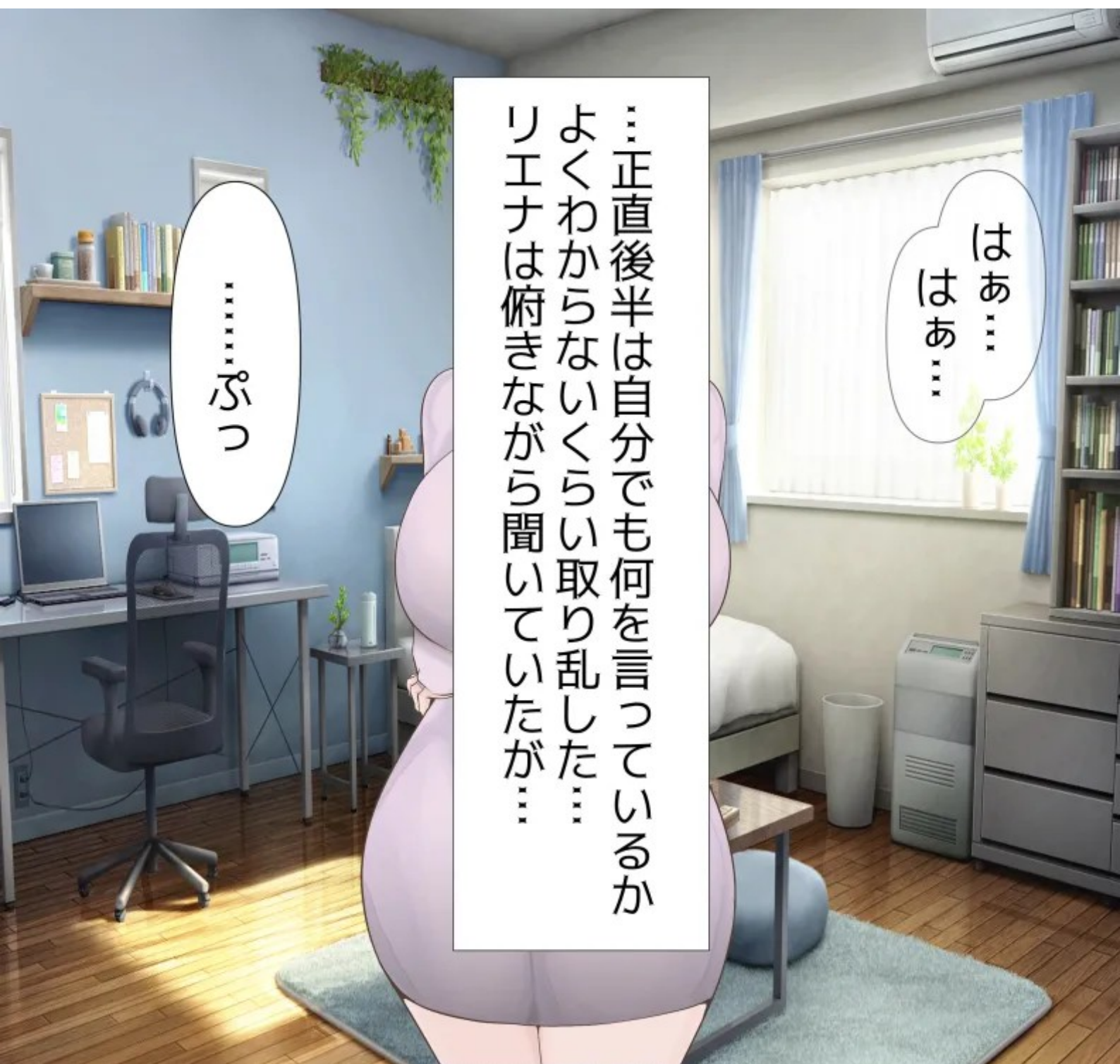
あなた大丈夫……？
顔色すごく悪いけど……

っ
……



僕は思っていることを打ち明けた





……
ぷっ

……正直後半は自分でも何を言っているか
よくわからないくらい取り乱した……
リエナは俯きながら聞いていたが……

はあ……
はあ……



ああごめんなさい…w
クスクス…w

なっ…なんで笑って…

くすっ…くすくす…w



可愛いなあもう…w

っ…リエナ…!

あなた頭いいのに私のことになると
おバカさんになっちゃうのが
面白くってつい…w

ユー君、その招待状を見つけたのは
どこかな？

っ…ゴミ箱だけど…

じゃあもうわかるでしょ？
招待状を捨てたってこと

で、でも…



じゃ、じゃあ昨日
ベンと一緒にいたのは……！

昨日は本当に偶然だよ？
あなたも近道だつて知ってるでしょ？
帰り道に会ったから少し話しただけ

思い出してみても
昨日あなたが見た私の服装



た、たしかに……
昨日見かけたリエナは……

納得してもらえた？

っで、でも……！

ユ一君



さっきからユー君ちよつと変だよ？

へ、変……？

変って……どんなふうに……？

なんていうか……



私が浮気してゐることにしたい
感じの喋り方って感じ

!?

確かに煽ったのは私だけどさ…
そこまでされる謂れはないんじゃないかな？



ま、まずい……
確かにしつこく言いすぎた……
怒るのも当然だ……

それは……
そう……だけど……
ご……ごめん……

欲しいのは謝罪じゃなくて！





じゃなくて.....

.....?

どうしたんだ…？
リエナの様子が…

……

……もしかして……





その……

私に……浮気して欲しかったり……する？

!?

な、なんで急に…!?

よくよく考えてみれば
心当たりがありすぎるし…

ベン君とのこととか…
この前のエッチの時とか…

僕は眩暈で倒れそうになるも
必死に否定を…



しかしすぐに言い出せない

「リエナが他の男に抱かれる」一度想像を
してしまえば思考はもう止まらない。

…『寝取られ』…っていうんだっけ…
そういうのって…





えっ……

な、なんでそんなこと知ってるの……？

ハア……っ……
ハア……！

元カレがそういうの好きで
一回頼まれたんだよね…

!?

も…元カレ…?

あんまり聞かないようにしてた元カレの
話がここにきて…っ



っ…そ…それで…
シ、シたの…？他の人と…

するわけないでしょ！
その時は絶対無理って断ったの

じゃ、じゃあなんで今は…!?

それは…



…その人とはそれが原因で
話さなくなつて…別れたから…

え…

アイツに未練がある訳
じゃないけど

それからなるべく彼氏の
要望を聞くようになったかな

要望…つて…？





.....
くう.....

.....

覚えてない？

高校の頃…男子トイレから大量のゴムが
見つかった事件…

まさか…

うん…そのまぢか



当時付き合ってた先輩に呼び出されて……さ

午後の授業サボってずっと
エッチしてたんだよね

っ……！



先輩早漏だったから割と早めに
終わったのにさ



先輩つてば片付けもせずに帰っちゃったの

「男子便所にゴムめっちゃ
あるとかおもしろいじゃん」とか言って

ふーん

まあ…当時は私も面白いかなって
帰っただけだね…
なんか大事件になっちゃって
ビクビクしてたっけ

っ…そ、そう…なんだ…っ

当時話題になったのをよく覚えている…
学校のトイレでセックスというものが現実の
存在するんだと興奮していた…
あれ…リエナのだったんだ…



リエナ…だったんだ…っ





ユー君…聞いてる？

えっ…？

ご、ごめん…聞いてなかった…

もう…だから…

シたいの？寝取らせ

ツツ……！

リエナの痴態を想像するだけで
それまでの憤りや焦りが全て掻き消される。
思考が塗り潰される。



本心を言えば興味がある……..
リエナが僕以外の男とどんな
セックスをするのか
どんなふうに乱れるのか



しかしそれを話せば
夫婦の関係はもう戻らないだろう
ここははっきりと断らないと……



……え？何を……

……身体は正直……ってコト？

リエナ……僕は……

おっちゃん
…ソレ

!?

なっ…なんで…っ!?

ち、ちがつ…これは…!



寝取らせ
シても

いいよ

えっ...？

な
なんで…!?

さっきも言ったでしょ
あなたと末永く良好な夫婦を
続けたいから

そのためには要望はなるべく
聞いてあげたいの
夜のこともなんて特にそうだし…



今の性生活に満足していない
わけではない。
しかしリエナは考えていてくれた。
永く夫婦を続けるために……

……
で



.....どうしたい？



…それじゃ、お夕飯
作っておいたから…チンして食べてね

う…うん……



リエナの提案を受け入れて数日…

相手はリエナ自身が決めたいとのこと
当日までは内緒とのことだった。

…もつとも予想はつく。

おそらく行く先は彼の…ベン君のクラブだろう…

……まああんまり遅くする
つもりはないけれど

あなたも最近頑張って
早く帰ってきてくれるし……

……その……







楽しみにしててね





それじゃ
行つてきます

どこか…どこか楽しそうな
リエナは僕に
焦燥感を強く感じさせた。



今ならまだ間に合う
こんなことやめよう……！

言え……言っただ……！

ハタシ...



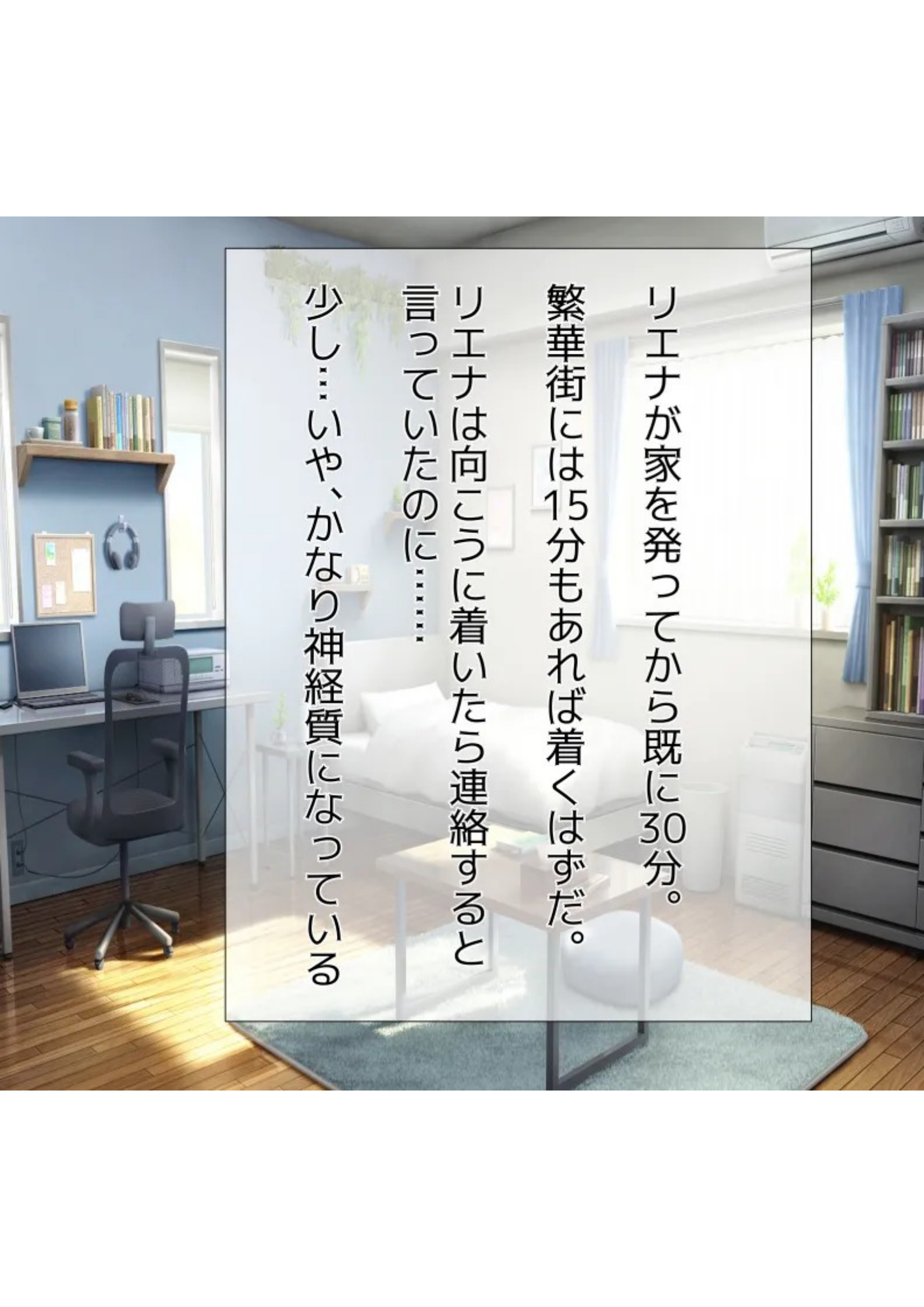
はあ……っ！

はあっ……！

言えなかった。

僕以外の、他の男を喜ばせるために
身だしなみを整えたりエナは
いつもとは違う…妻ではない別の
魅力を放っていた。

そんな彼女を前にした時…
歪んだ性欲が言葉を詰まらせたのだ。



リエナが家を発ってから既に30分。

繁華街には15分もあれば着くはずだ。

リエナは向こうに着いたら連絡すると
言っていたのに……

少し……いや、かなり神経質になっている



リエナからだ……！



も、もしもしリエナ!?
大丈夫!?

……ユー君……

ビデオ通話、オンにして



連絡遅れちゃって
ごめんねーユー君

ちよつと興味深いものを
見てたら夢中になってて…

「そ、そっか…無事でよかった…
本当に心配で…」

ありがと、ユー君の
そういうところ好きだよ



「そ、それで…？
興味深いことって…？
ていうかその格好は…っ」



落ち着いて まだそういうことは
してないよ？
…順番に答えるとね…



他の人たちのエッチを
見てて…
目が離せなくって…♡

「ほ、他の人の…?」

そ、他の人のエッチ♡セックス♡



ここの黒人さんたちと
昼間から浮気セックスしてる
女の子がいっぱいいて…♥

「っ!？」

なんていうか目が離せなくて…
濡れちゃって…♥
それで今からシャワー浴びるんだけどね



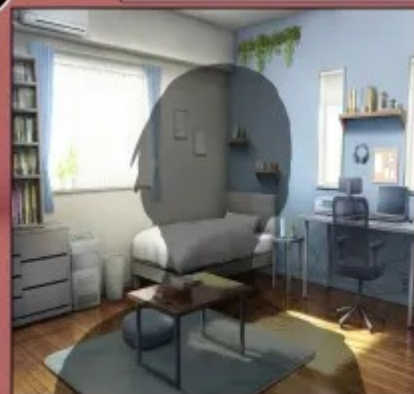
BBC CLUB ♠

リエナは興奮を隠せずに
喋り出す…
その様子に複雑な
心境になる僕…

いやあ〜
すごかったなあ…♡

人妻から学生の子まで
夢中で腰振っちゃって…♡

特に学生の子、彼氏っぽい子を連れてきててね？



「か、彼氏…?」

そう、すっごくプレイ
してたよ?

結合部舐めさせながら
中出しされてるところ間近で
見させたり…♥
ユー君もゆくゆくはそういうこと
したいのかな?

「っ、そ、そんなわけ…」



BBC CLUB ♡

やっぱりやめよう!!!
さっき言えなかったことを言っただ!!!



BBC CLUB

「リエナ…っ…
も、もう帰ってきてきて……」

やっぱりやめよう…んなの…」



ふふ、泣きそうな顔しちゃって可愛い♡
その顔が見られたらだけで満足かも

「じゃ、じゃあ今から迎えに…」

でもだあめ♡



BBC CLUB ♡



「な、なんで！」

だって…



BBC CLUB



彼、やる気満々だし…♡

!?



BBC CLUB ♠



(な、なんだあの大きさ…っ!?)

あなた一人の都合で
やめちゃったら可哀想だし、ね？

HAHAHA ♡

それにあなたも
こういうの好きでしょ？
ちゃんと寝取られについて
勉強したんだから ♡



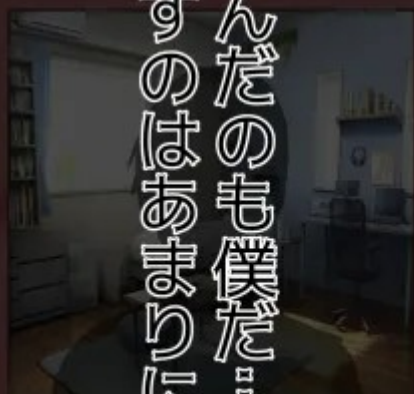
BBC CLUB ♡

確かに提案したのも頼んだのも僕だ…
僕一人のわがままで帰すのはあまりにも
自分勝手……

でも…でも………!!

たった一度の寝取らせで全てが
変わってしまいそうという予感を…

リエナの期待感に満ちていた顔から感じていた…

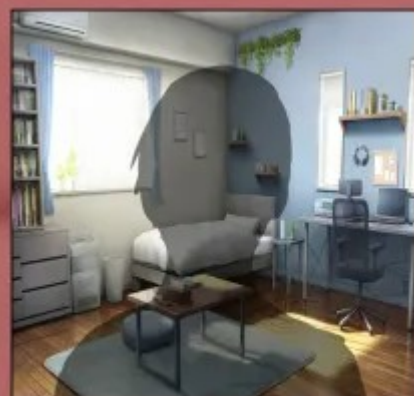


BBC CLUB

…そういうわけだから、
もう諦めて鬱勃起オチンチン
シコシコしててね♡

愛してるよあ・な・た♡

「リエナ！待つ……」



BBC CLUB ♡

ミュ、ミュートされた…!?

リエナさん、バスタオルを
取ってくださいサイ
才背中御流しシマス♡

えゝ恥ずかしいなゝ♡

HAHAHA
裸の付き合いデスよ♡

リエナ…やめ…



蓮水リエナ が
あなたをミュートしました



BBC CLUB ♡

7 7 7 ... 7

あああつ……！

……やっぱり恥ずかしいね……♡

OH……
NICE……
手をどけてください♡

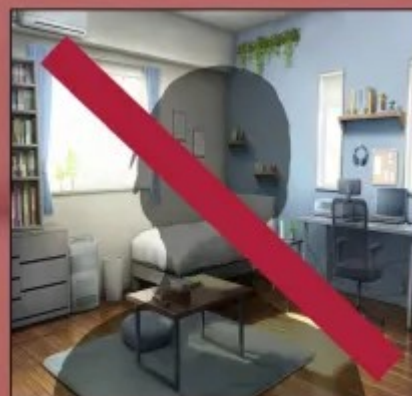


蓮水リエナ が
あなたをミュートしました



…はい、どーぞ♡

僕だけが…僕だけが
見ていいはずのリエナの
裸が……っ



蓮水リエナ が
あなたをミュートしました



リエナサンっ♡

きゅっ♡

ちよ、ちよっと
ベン君…
焦らないでっ…♡

HAHA
緊張をほぐすため
ですヨ♡

キッ…



あーんもー…
嬉しい気遣いだけど
私がリードしてあげ…



な、なに今の……？
揉まれただけ
なのに声が……

んっ……？
んんっ……？



この子…
なんでこんなに
上手いの…!?

HAHAHA
リエナサン
一つ勘違いシテマス

んっ…
か勘違い…?





リエナサンはお客様♥
お客様にご奉仕するのは
僕の仕事デス♥

いーいやでも…っ♥

で…でっかあ…っ♥
さっきも見てて思ったけど
股の間を通してこんな
大きいなんて…♥
それにすごい熱いし硬い…♥
やばいなくこれ挿入したら…♥



僕はこのクラブで
何人もの女性を
満足させてきまシタ ♡

必ずイかせますよりエナサン ♡

いいや
そういうのは気持ちだけで…





あっちよっ...
乳首っ...やめっ...♡

リエナサンは乳首が
弱いんデスね？

っ...♡

ちっ...♡ちが...♡

かりかりかん♡

H A H A、ホラ、
声が小さくなッタ

イイんですヨ
リエナサン♥
気持ち良くなることだけ
考えまシヨウ♥
激しくシマスね♥

あつちよっ…
激しいのダメっ…♥♥

これっ…だめっ…
きくっ…♥



マンコのひくつき具合から
絶頂が近いんですネ？
最後は押し潰して
あげまシヨウ♥

ま、まって……っ
だめって言うた

2

3

1

カリカリ
カリカリ
カリカリ



や…やつば…乳首だけで
いくとか初めて…っ♡

HAHA、乱暴に扱われて
いくとは…
リエナサン、「会員」の素質が
あるようダ♡

か…会…員…？



ハイ♥
BBCクラブでは
我々黒人の性欲を
受け止め切れるタフな
女性のみ会員になることを
許されマス……

まあ、この話は後ほどじっくりと…ネ♥

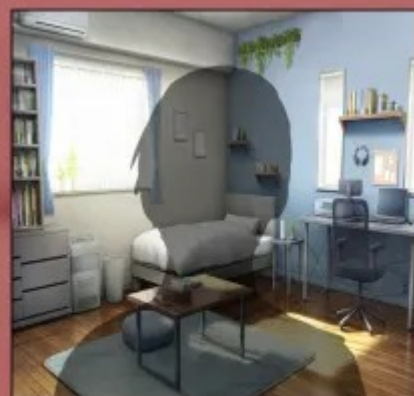
そろそろ通話に
戻ってあげてください



蓮水リエナ が
あなたをミュートしました



あ、あはは……♥
ごめんユー君……
すっかり忘れてた……



……どうだった？
いつもは責めてる側の私が
乳首だけでこんな簡単に
イカされちゃって……♥

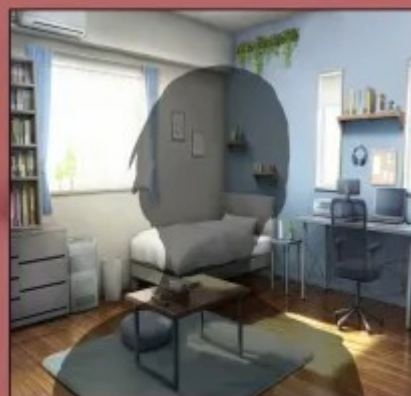


「はあ……! はあ……!」

……答えを聞かなくても
顔に書いてあるね……♡

もしかして今一人でしてる?

「……」





…うわぁ…本当にシてるんだぁ…
ちよっと引いちゃうなぁ…♡

「う…うんっ…
シてる…っ」





「リ、リエナあ…っ」

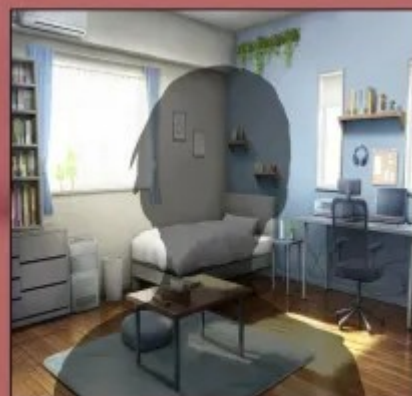
ねえユー君

ただ…これで罪悪感みたいなのは
感じなくてもいいかなって…♡

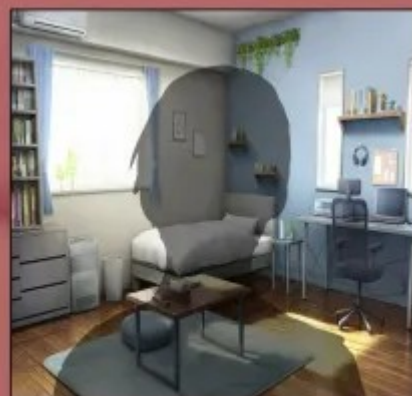
本当は軽く手で
抜いて終わらせるつもり
だったんだけど…

見ての通り…私、主導権
握られちゃってるんだ…♡

「う…」



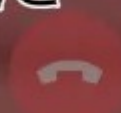
この後は
何されちゃうんだろうね…私…♡



不安と快楽への期待が入り混じった
リエナの顔は…



僕では引き出すことのできなかつた
危険な魅力を放っていた…



サテ…準備運動も終わった
ところで…

ん？準備体操？

ハイ♡

いよいよ本格的なBBCクラブの
やり方をお見せしたいので♡

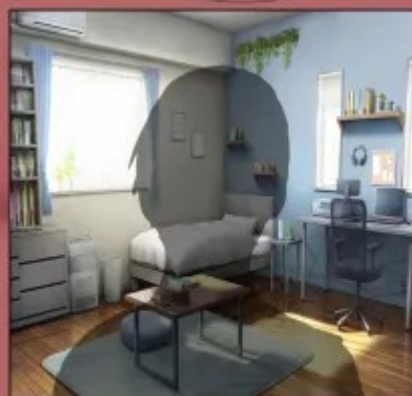


少々**過激**ですが
心配ありません♥
リエナさんにナラ
きつと楽しめマス♥

へえ、面白そうだね
確かにさっきまでお客様とか
ご奉仕とかって感じだったしね
いいよ、やろっか

OK
♥

か、**過激**!?



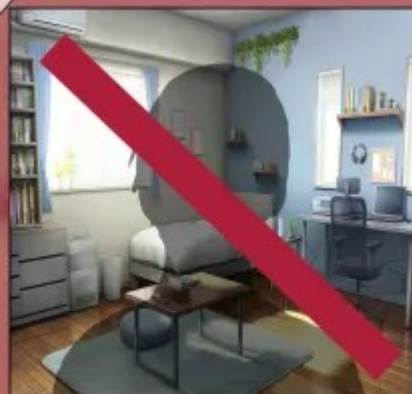


ま、待つ…

あれ、ミュートにするの？

ハイ♥

ミュートにされた!?



蓮水リエナ が
あなたをミュートしました



な、何をする気なんだ…っ!?

それジャア……
脚を開け、メスブタ



蓮水リエナ が
あなたをミュートしました



!?



ふふ、いいよ
開いてあげ...

.....あー...過激って
そういうことね



蓮水リエナ が
あなたをミュートしました



ま
ゃ
っ
!?

リ
エ
ナ
!?

え...えっと...
べ...べん君...?

S h u t u p b i t c h

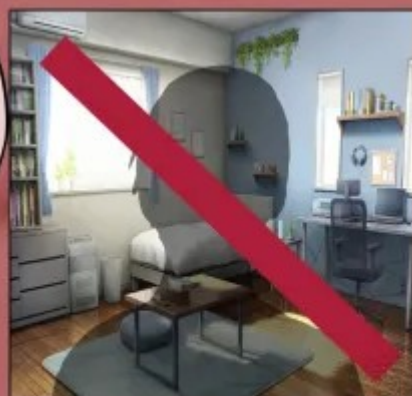
お前...いつまでデ上からモノを
言ってるんだ? 調子に乗るなよメスブタ

星火リエが
あなたをミュートしました



はあっ…
はあっ…!!

リエナのあんな顔…
今まで見たこと…っ…



蓮水リエナ が
あなたをミュートしました



あ、あのさ…
ベン君…
か、過激ってそういう
ことじゃなくって…
い、一回落ち着こう？
ね？

やっぱ…♥力強…っ
全く抵抗できない…♥



蓮水リエナ が
あなたをミュートしました



お、おーい……ベン君……？

……



蓮水リエナ が
あなたをミュートしました

せめて何か喋ってほしいかな……？
ほ、ほら……ユー君も退屈しちゃっし……

キッ

キッ

キッ



黙れメスブタ

Japaneseで
言わないとわからないのか?

蓮水リエナ が
あなたをミュートしました

Huh:
もう濡れてんのか?

相変わらず日本の女の
マンコは濡れやすいな(笑)

チヨロすぎて
恥ずかしくないのか?(笑)

ちっ…違っ…
♡



蓮水リエナ が
あなたをミュートしました



何が違うんだ？

普段はこんな濡れ……

ぞくぞく

ぞくぞく

ぞくぞく

……あつ……！



蓮水リエナ が
あなたをミュートしました



HAHA、旦那はヘタクソって
ことか

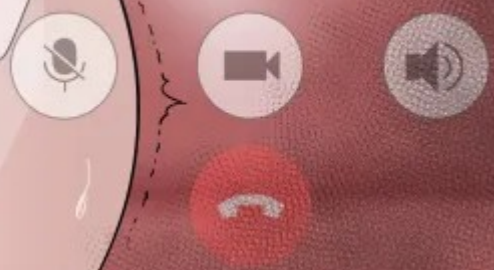
ち、ちがつ…
そういうこと言ってる
わけじゃなくて…!!

ユ、ユー君…!!
ちがうからね!?

リ…リエナっ…



蓮水リエナ が
あなたをミュートしました



私はユー君の…

♡お♡お♡

マンコが吸い付いてくる
メスブタは嘘がつけない
ようデ大変だな？



蓮水リエナ が
あなたをミュートしました

ハハハハ
アハハハ



へたくソな旦那に
代わって俺が
イかせまくってやる

だっ♥…からあっ…♥
違っ…てえ…!♥
ちよっ…♥指深っ…♥

シゴく手が止まらない…っ
僕がシた時はあんな声
出さなかったじゃないか…
リエナあ…!



蓮水リエナ が
あなたをミュートしました





蓮水リエナ が
あなたをミュートしました





画面から目が離せなかった。

また潮を吹いたな？

あのリエナが、いつも僕を
簡単にイかせてくるリエナが……
こんな短時間で二回も……



A photograph of a modern, minimalist living room. The room features light blue walls, a large window with a white frame, and a grey sofa. A large red 'X' is overlaid on the image, indicating a rejected design or concept. The room is furnished with a desk, a chair, and a bookshelf.



見ろ お前が汚しタ指を

そ...
そんなの見せなくていい...

なら目を瞑ればいいだろ
ガン見シヤがつてマゾメスが

っ.....♡



蓮水リエナ が
あなたをミュートしました



へボテクの旦那に
こんなことができるか？
ン？俺の女になれば…

…そろそろプレイでも
笑えないよ、ベン君

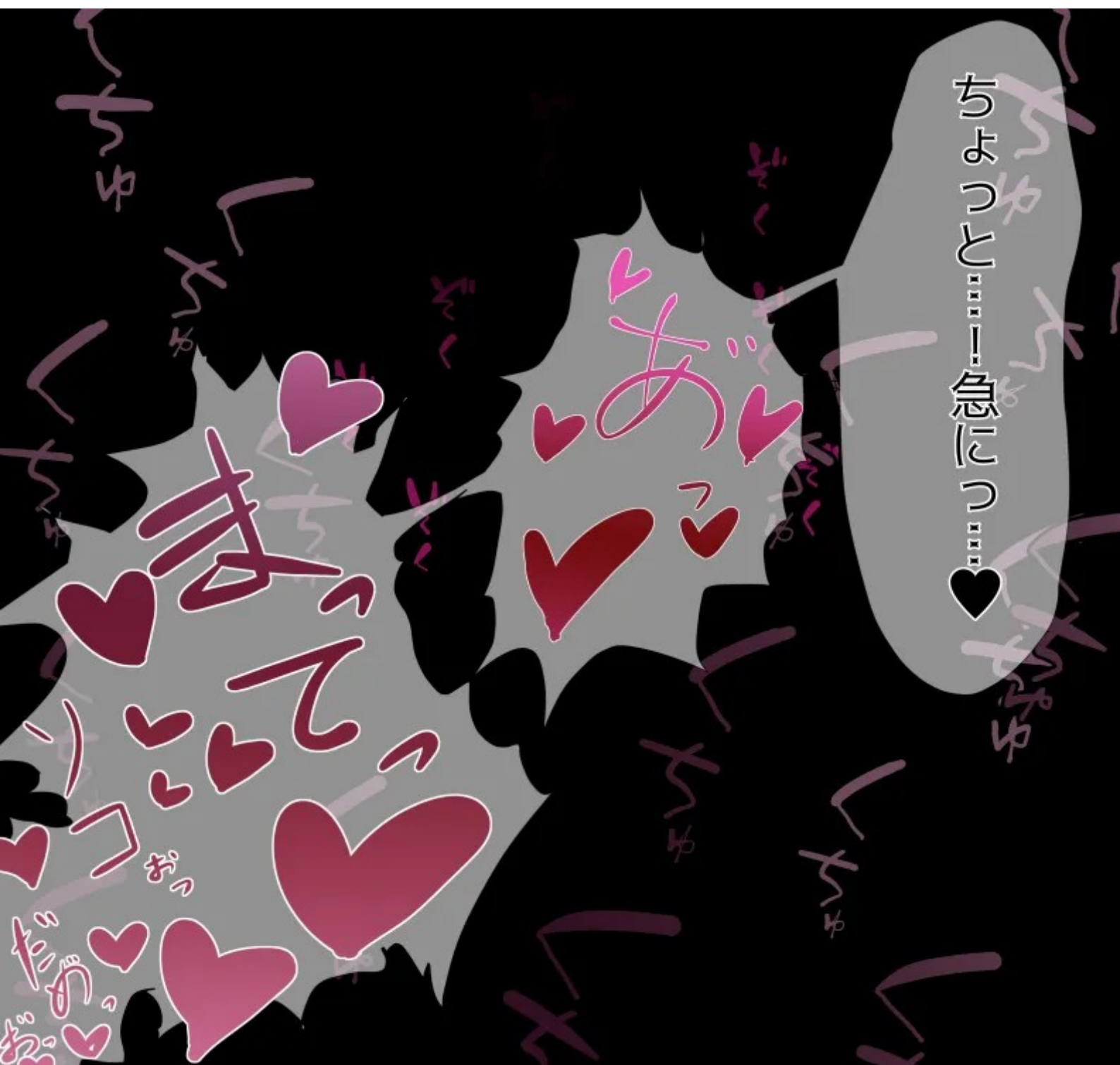
あ？



蓮水リエナ が
あなたをミュートしました



ちよつと……！急にっ……♡



7. 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

メスブタの癖に
大した根性だな？

びくっ



蓮水リエナ が
あなたをミュートしました

はあー……♡
はあー……♡

ヌ
ト



五分間、リエナはベンの手マンで
いきまわっていた…
絶頂の回数は…わからない…
それくらいイかせていた…



蓮水リエナ が
あなたをミュートしました

ベンの太い指はリエナの弱点を
知り尽くしているかの如く…
いとも簡単に絶頂させた。
それも初めての前戯で…だ。

何年も一緒にいるというのに
前戯でリエナをイかせたことのない僕に
とっては強烈な敗北感を
植え付けられた。

何より…

自分の妻が他の男にイカされ
よがっている所をオカズに
ペニスをしごいていることが
何よりも惨めだった…

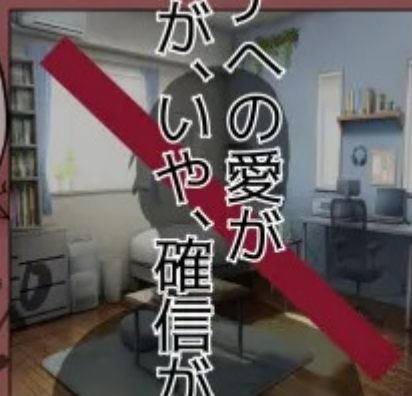


蓮水リエナ が
あなたをミュートしました

リエナは僕の悪口を言わせようと
してくるベンの愛撫に
必死で耐えているのに…

ヌ
ト

こんな狂った性癖に
付き合ってくれるリエナへの愛が
更に強まった。そんな気が、いや、確信がある。



蓮エナが
あなたをハートしました

もう十分だ、もう十分だから帰らせよう。
思いつき彼女を、リエナを抱きたいんだ……

スト
スト

やっぱり気に入った

びくんと

...

You way too fine for a beta dude into that cuckold shit...

That's why I'm take you for real.

な、なんて
言っただ...!?



蓮水リエナ が
あなたをミュートしました



「だから…プレイでも笑えな…」

「ここから先は
惨めなマゾヒストには
贅沢だ」

え…!?
が、画面が…!?



「あっ…私のスマホ…!!
返しなさいベンく……!!」

んむっ!!?

リ、リエナ!?どうしたの!?

く、くそっ…

ミユートされてるんじゃないかも…!!

流石にリエナが心配だ…!!
今からクラブに行…!!



「ちょっと……！
それはダメだって言ったじゃ……」

あつ……

ま、待って……
一回落ち着こ……？ね……？
さっきの態度は私も悪かったからさ……

お、お願いだから私の話を聞いて……？

だから……」



「オチンチン…当てちゃダメ…っ」



僕は……

あ
っ
♡

じゅあ
じゅあ

じゅあ

あ
っ
♡

じゅあ

じゅあ

じゅあ
じゅあ

じゅあ
じゅあ

じゅあ
じゅあ

あ
っ
♡

じゅあ
じゅあ



僕はまた……



「あっ……」

あつ……！

あ
あ
つ
…
!?

あー、あー、あー

ん
てい

→ 100%

vh

んん

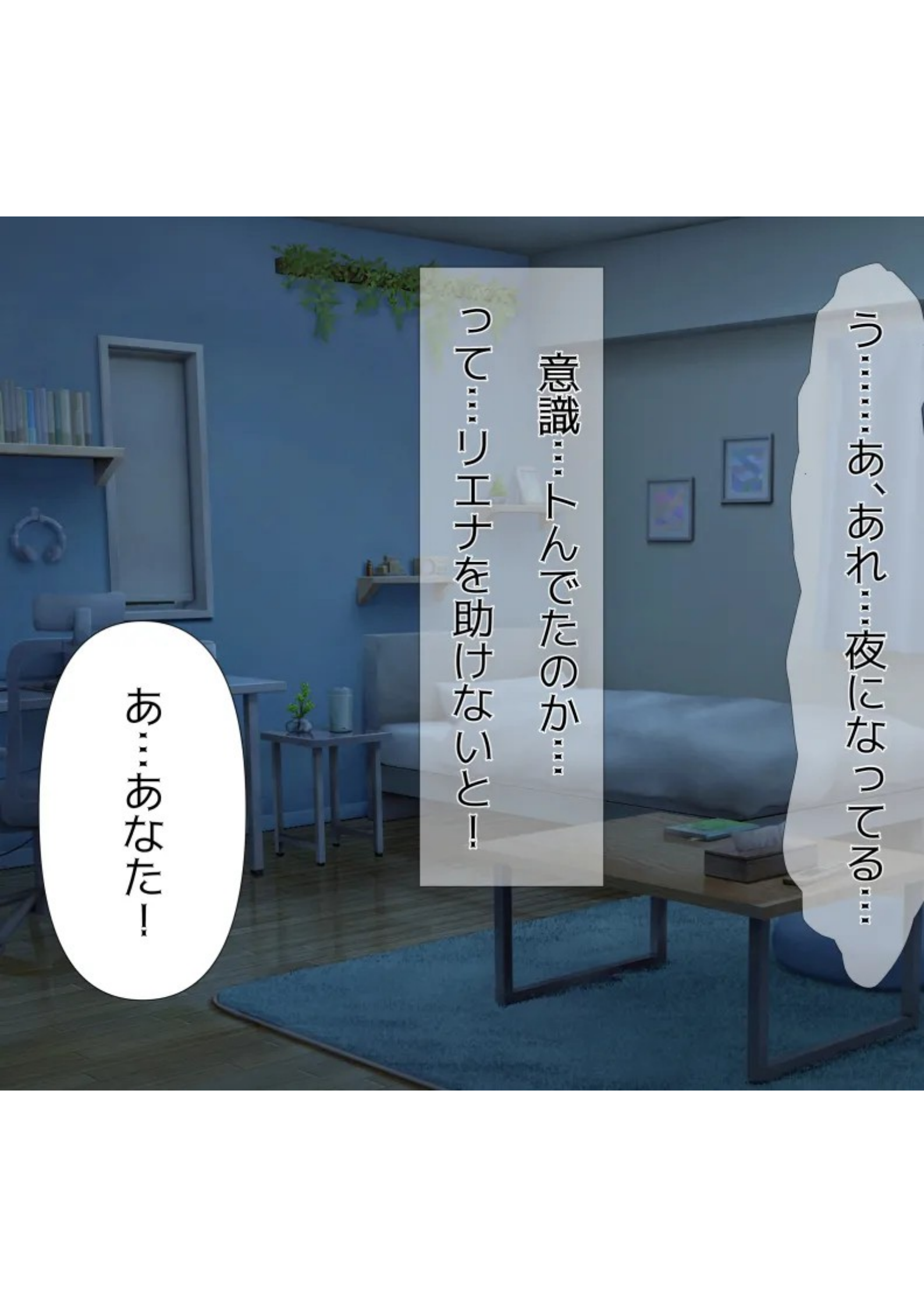
んっ↓

OK

78

動けなかつた





う……あ、あれ……夜になってる……

意識……トんでたのか……

って……リエナを助けないと！

あ……あなた！

リエナ…？

よかった…目が覚めて…
どう？大丈夫？
どこか痛いところはある？

うっ…だ、大丈夫…
そ、それよりいつ帰って…

えっと…



…その…実は…さつき…

帰ってきたばかりで…

っ…！
そ、それって…
この時間まであそこに…！



えっと…まあ…うん…

っ…そ、そうなんだ…っ

その…ごめんね
「ああいうプレイ」の一環だったから…
スマホも確認できなくて…あはは…



それで…ど、どうだった…？

どうって…ああそっか…
気絶してたんだっけ…

はー…

もー…せっかく頑張ったのに…

ご、ごめん…



で、聞きたい？

っ……う、うん……

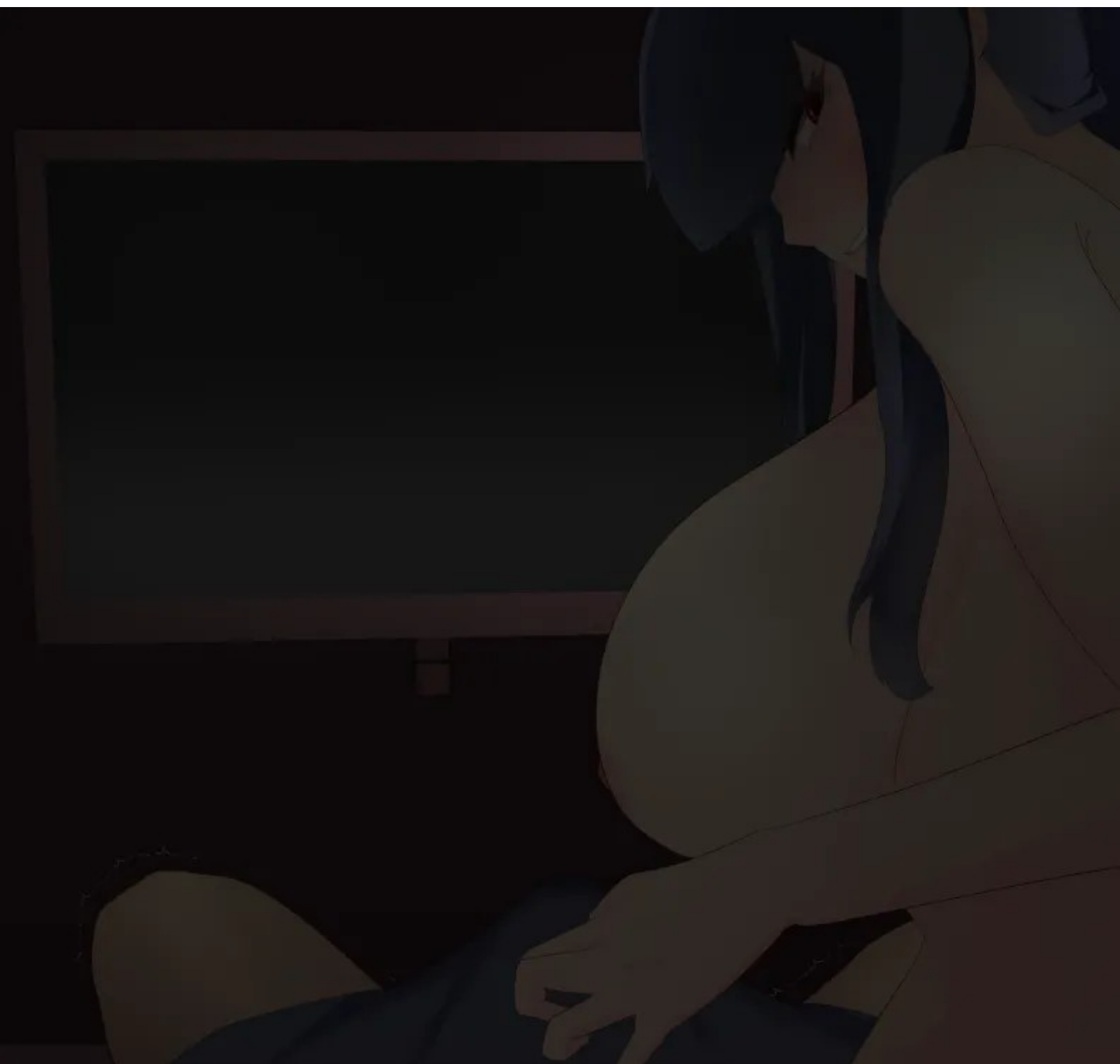
……はあ……
聞きたいんだ
……まあそうだよな



染みができちゃってるし…
早く脱いでこっち来て



気持ちの良い後悔、
させてあげるから…
♡







ふふ、もうボンボン(笑)

っ……リ、リエナっ……

カリ♡

カリ♡



どうしたの？
ちよっとカリカリしてる
だけなのに(笑)

い、意地悪しないで…

こうして見るといつもと
変わらないリエナ主導の
情事…だが今日は…

カリ♡

カリ♡

はいはい慌てないの♡

ス、スマホ…？
も…もしかして…

ふふ♡

トゥッ…

カリ♡

カリ♡





っ……はっ……っ……
リ、リエナあ……っ

彼女が取り出したスマホ。
ソレにはおそろく……いや、
十中八九僕が望んだもの……
僕を絶望させ……興奮させるものが
入っているのだろう……



落ち着いてって言うてるでしょ♡
…
せっかくミラーリングテレビが
あるんだし大画面で見よっか♡

ま、待って…やっぱり…

だるめ♡
私言っただでしょ？

後悔させてあげようっ♡



んゝつと…
ユー君が見れてないの
こちら辺だったっけ…

リエナはそういうと
スマホをテレビに繋げて
動画を再生した…

あつてる？

う…うんっ…
でも画面は…

「あつ…私のスマホ…！
返しなさいベンく……」

んむっ！？

ふふ、セッティング中
みたいだね♡
安心してきつと
もうすぐ映るから♡

シッ♡

シッ♡

い…今何をしてるの…？
って…なんで音量下げて…

「さっさと音量上げて」

「さっさと音量上げて」

音量 ■ ■ ■ ■ ■

え…なんのことかな…♡

シカッ

シカッ



い……この水音……
も、まさか……っ

キ……

あ、映ったね…♡

っっっっっ！

アハハ

アハハ



「ちよっと……」
「それ」はダメだって言ったじゃ……」

ふふ、なんだろうっね？

リ、リエナ……っ
「それ」って……何……？

リ……リエナっ……
流石にそれは教え……

シッ

ユ一君



今はそんなことよりも…ち
ほら…♡

「…うむ」

!!!

ユー君が一番見たかったところだよ？



「あ、あ、あ...」
「お、お、お...」

「あ、あ、あ...」
「お、お、お...」

あはは...まるで命乞い
してるみたいで
ちよつと恥ずかし...♡

あはは

あはは

僕との時は余裕の
リエナがこんな……
こんな焦って……っ……

「お願いだから
私の話を聞いて……」

「だからオチンチン
当てちゃダメっ……!」

シッ♡

シッ♡

…さっきより
硬くなってない？

自分の奥さんの
痴態を見せられてるのに…
変態♥

リ…リエナあつ…



ふふ…やっぱり遠慮する必要
ないみたいだね…♡

私もスイッチ入っちゃった…♡

えっ…

女はね、何度も何度も…
ユー君と比べ物にならないくらい
大きなオチンチンを
擦り付けられるとね…







砕かれちゃうんだ...♡



リ...リエナあつ...!!

あ



びゅっ

ガン

早いよユー君…♡
まだ妻のおまんこに
他の男のオチンチンが
挿入^はっただけだよ…？♡

じゅじゅめっ…
うっうっ…
シ、シ「ジ」やめっ…!!

ハッ♡

ハッ♡



やめない♡

なっ…

それにオチンチン
まだガチガチじゃん…♡

そ…それは…っ



ふふ、すごい声…♡
あんな声出してたんだあ…♡

はっ…
はっ…!!



ふふ…
ベン君のオチンチン…
本当に大きくてね？

私の一番感じる場所を的確に突いてくれるんだ





もうこころ辺本当に
気持ち良すぎて
バカになってたなあ…

はっ…

シッ…

はっ…

潮まで吹いちゃって…
ユー君に吹かされたこと
あったっけ？



ふふ、興奮しすぎだよ♡

はっ…

はっ…

それよりも気づいてるよ…





ゴム

してなかったこと♡

…ん？



あ…♥また硬くなった(笑)
気づいてなかったんだ…♥

う、嘘…でしょ…?

残念だけど本当♥

はっ…

はっ…

なっ…なんで…!

んー…♡
手でイカされた時から
頭がぼーっとしてて…♡

はっ…

シッ

はっ…

シッ

ごめんね…
うっかりしてた♡

あ

シッ

シッ

す

す

す

ぎゅ

ぎゅ

ぎゅ

ぎゅ

ぼ、僕とはまだ生でシたこと
ないのに……

そんな僕の思いを見透かしたように
笑うリエナ……

どく

はっ……

シッ……

はっ……

そんな思いとは裏腹に
陰茎は更に硬さを増す



「I'm 'bout to bust, bitch!
Clamp that pussy tight!」

あ…ベン君
やっと一回目だね…♡

ユー君は
すぐイっちゃうのに…♡

!?
そ、それって…!?

はっ…

はっ…

クス…♡
わかってるくせに…♡

あえて寝取られマゾの
ユー君に聞くけど…♡

この後、いじりまわされてくよ

!!!

画面の私はダメって言うてるね……
でも本当はどうなのかな……

「んっ♡
だだめえっ♡」

「中っ…♡中に出しちゃダメっ…」

公認とは言っても旦那以外の男とする浮気生ハメセックスの背徳感……♡
力じゃ絶対敵わない「雄」に犯されて……♡

はっ...



はっ
シカ

はっ……



逆らうことなんて
できるのかなあ...♡

はっ...

はっ...

答えてユー君♡

でもどうしても
わからないなら...

はっ...

どうにかなりたいか

でもいいよ...♡

はっ...

アハハ

アハハ



そ、そんなの…っ…そんなの
言ったら…言ったら終わる…

終わるのに…







はっ...はっ...

はっ...はっ...

はっ...はっ...

はっ...はっ...

はっ...はっ...

はっ...はっ...

はっ...はっ...

はっ...はっ...

はっ...はっ...

はっ...はっ...

はっ...はっ...

はっ...はっ...

はっ...はっ...

はっ...はっ...

はっ...はっ...

はっ...はっ...



あー……



えっ!?
リ、リエナ……っ

んっ……ぢゅぬ……♡



元々射精寸前
だった僕のペニスは
リエナの口内で
あさあり果てた。



はっ…

はっ…

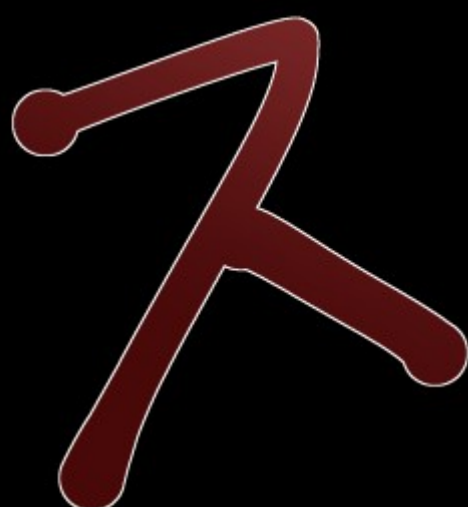
リ、リエナ…っ

ん？

ん…









どう？ ユー君

ベン君は外出しなのに
ユー君は口の中だよ？
♡

100%

$$Q = 9.74$$

16

な…なんで…

なんでって…
大好きな旦那さん以外に
させるわけないじゃん(笑)

!!!



ホント…私が奥さんでよかったね？
寝取らせプレイなんか頼んだら普通は
離婚モノだよ？



身体的な特徴で男の人の
魅力が決まる訳
じゃないけどさ...

客観的に見てユー君より
圧倒的に
優れた身体の雄に
寝取らせプレイをしたのに
優越感感じさせてくれる
奥さんなんて
他にいないよ？

んぐっ...

だからこれからは
大切に…ってあれ？

もう回復してる…
どしたの？

い、いや…
な、なんでも…



ん？
隠し事は
ナシでしょう？

ハニシ

ハニシ

ハニシ

あがつ...
リ、リエナつ...





な、なんでっ…

隠し事する
悪い人にはシコシコ
してあげませーん♥



そ、んな…っ

一人でする分には
何も言わないよ？
でも……
シて欲しいなら……
わかるよね？

っ………

他の男と比べられ、貶されること。
それに対して異常なまでに
興奮を覚える自分がいる…



でも…伝えていいんだろうか…
軽い気持ちで寝取られ性癖なんていうモノを
告白しただけでこんな状況になっている
というのに…
これ以上言ったらリエナはきっと
期待に込えてくれる…
それはきつと僕の予想以上に……



予想以上に……





い、言っちゃった……
でも聞きたい……っ
僕を気遣ってくれてる
優しいその口から……！







ニヤ

そっかあ
バカにされたいんだあ…♡

ニヤ

ハハハハハハ

ハハハ

ううう!!♡

シッ

シッ

うう

うう

寝取らせなんて頼む時点で
今更だとは思うけど
比べられた上でバカにされたいなんて
結構重度のマゾだよユー君…(笑)



あーあ、せっかく自信
無くさないように
優越感持たせてあげようと
演出頑張ったのになく

どく

ニヤ

ハニシ

ハニシ

ハニシ

ドゥドゥめ...
ドゥドゥめ...

いっしょ♡



重度の寝取られマゾ旦那の
ユー君のためにシてあげる♡

ニャ

ニャ

||

私が理解のある素敵な
奥さんで良かったね？

フッ



これは見せるつもり
なかったんだけどね……

そういうとリエナはスマホを
操作し別の動画を流し始めた。

「はっ……♡はっ……♡
3回も連続でなんて
予想以上……っだよ……♡」

「……wow
スゴいですリエナさん……
他の方ならもう
気絶してしまうの……」



さ……3回……っ

ふふ♥そう3回♥
でもここからが重要だから
集中して♥

フッ

フッ

「リエナさんはやはり
僕達のクラブのメンバーに
相応しい才能を持っています」
♥



「はぁ…♡はぁ…♡
ちゅわん…」

「YES」



「わっ…♡
も、もっくん…♡
まだどきどきの…?」

ブルン

「H A H A
嵐でス♡」



「リエナさんはとても魅力的な方です♡
SEXYな外見だけじゃなく
夫の為に身体を張るソの奉仕精神
間違いなくこのクラブに相応しいです♡」

ふふこの時のベン君ってばこんなこと
言ってたんだ…
ここの私オチンチンに夢中で
聞いてなかった(笑)

はぁ

はぁ

はぁ

フッ

フッ

でも仕方ないよね♥
さっきまで何回も私の中で散々暴れて
ふにゃふにゃのはずの
オチンチンがもう復活しかけてるんだし♥
驚かない方がおかしいよね？

ほんと…誰かさんのとは
大違い(笑)

っ…

「…おい人の話を聞いてルのか？」

「…うんうん」

「入るのか入らないのか
はっけりうん」



「だっ……」

「おいまぢが断るんじや
ないダろっとな？
あんなにイッキ狂っておいで」

「それ……はっ……♡」



「舐める」

「も、もういいって……」

「舐める」

「Love」



「ふぁい…♡」

あ…あつちう…

あはは…ね。あつちう
従っちゃったね…♡
強く言われると
逆らえなくて…♡

ふぁい

ちゅ

ふぁ

ちゅ

3回も射精したのに
すっごい大きくなってさ〜…♡

しかもいろいろ
混ざったのがこびりついてて
もう最悪だった…♡

いつも清潔にしてくれる
ユー君とは大違いで正直…♡



『ふんふん♡』

すっごく興奮した…♡

男らしい匂いってこういうこと
なんだろうなあって夢中だった…♡

ぢゅん

ぢゅん

すゅん

くすゅん

「あ~~~~むっ♡」

それで気づいたら
啜えちゃったの♡

…啜えてる顔
ちよっと恥ずかしいかも(笑)



大きくて顎外れそうだったし
私の…あ、愛…液とかいろいろ
付いてたけど…
この時は一歳気にならなくて
夢中でしゃぶりついてたなあ…
♡

「まっ
しゅっ
しゅっ」

「まっ
しゅっ
しゅっ」



く、苦しくなかったの…？

もちろん苦しいよ…

「ん…」

「ん…」

ほら、えづいてるのが
聞こえるでしょ…♡



でもね…
ベン君の大きな手に
撫でられるとキュンキュン
しちゃって…♡

そうそう膺きゅん
ってやつ(笑)

くほっ♡

ズンボ♡



ユー君の手は……
ふふ、まあ私より少し
大きいくらいだね

っ
…

あ、ユー君の手も好きだよ？
でもキュンキュンくるかは
……自信ないかな（笑）

っ…リエナあつ…

オスとしての敗北感
感じてるんだ…♡
変態(笑)

でも残念だね。
このビデオ見なければ…

くほっ♡

ズボ♡

「んぐっ♡
「じゅわん♡♡♡「じゅわん♡♡♡」

実はベン君のも飲んだこと
知らずに済んだのにね♡



「んく……んふ……」

ベン君の精液は
なんていうか……♡

匂いも味も濃くって……♡
粘りつくくて
喉に絡みついて……♡

ユー君の薄……

飲みやすくてやさしい感じ

とは大違いだった♡

じゅるる……♡

じゅる……♡

ズル...

「ぷはっ…」

「けほっ…♡
けほっ…♡」



「あっ…♡

も、もう勃つの…?♡」

し、しかも

やっつきよろ…♡



「当然だろ

粗チンの旦那と比べてみる」

「そん…な……♡」

「心配なうひんちう
リエナさん、
あぐぽぽハイぽぽ♡」

はあ

はあ

はあ

「っ…♡ユー君が
かわいそうだから♡」

「HA、もう
言ってるような
もんじゃないか(笑)」



「BUT...はっちら言わないなら
このまま帰ってもいいわ
そして二度とここへは入れない」

「え...」

はっ

はっ

はっ

「...うき、うき」

「...うき...うき...」

「FUCK YOU UP」

「……」

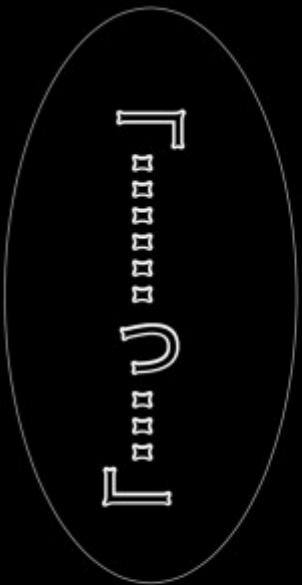
「エー君のヘッチは…
嫌いじゃない
ううん、好き…だよん」



「ちゃんと愛が感じられる
っていうか…
心が温まる感じがして…」

「おっくう幸せな
気持ちになれる…」







「でも…っ♡
それだけ…っ♡」

「こっちの…
ベン君のデカチンの方が好き…っ♡」



「長くて…♡」

短くて♡

細くて♡

「太くて…♡」

「硬くて…♡」

ふにゃチンで♡

「何回もできて…♡」

すぐ萎えちゃって♡

「私の好きなところにピッタリハマって…♡」

私の好きなところに全然届かない♡

「ベン君のチンポが…♡」

ユー君の粗チンが





嫌い
♡

「好き...♡」

あつ...!!

パッ ✖

ニヤ♡
まっ……♡リエナあっ……♡

好きでしょ？
じゅじゅの

ニヤ♡

さっ……♡最後までっ……♡
ああっ……！♡♡♡

♡しゅあげない♡







あっ...あっ...っあ...♡

ピュッ

ピュッ♡



…気持ち良かった？

う、うん……
す、すごく……

良かった！

さ、最後まで
刺激されなかったのに……
今までの人生で
一番気持ち良かった……っ



それにしてもいっぱい出たね♡
ユー君にしては、だけど(笑)

っ…♡
リ、リエナ…今日はもう…

えゝやめちゃう？

流石に今日はもう…っ♡

ふーん？
オチンチンの長さも
太さも硬さも負けてるから
せめて回数だけは期待して
動画見せたんだけどなあ〜

っ…♡

ニクニク♡

20
分

5分♡

ほらほら♡頑張れユー君
頑張れユー君♡

なっ……!





はい、動画送っておいたから
それじゃ私はシャワー
浴びてくるね

え…!?

唐突に…**振り返りもせず**
そそくさと寢室を出る
リエナ

手も疲れたし…?
それに…

それ見たら
必ず元気になつて
私にところに来るから〜(笑)

ハッ

ー

...

リエナの意味深な様子も気になるが…
今は…っ…



「もう……♡
ベン君……♡」

「人妻に旦那の
粗チン煽りさせて
興奮するなんて
最低だよ……♡」

「こんな動画
見せられな……」



「っ……♡
ベベン君っ……
興奮しすぎ……♡」

スッ

「そんなに覆い
被さられると
逃げられなく……♡」





「HHAHA、
リエナさん」

「どうせ見せろなければ
もっと踏み込みマしようっ♡」

「え……？」



なんだ…
何を喋って…

「クス……♡
いいね、ソレ……♡」





「そうだよね、
どうせ見せないし…
バレないよね♡」

「ユー君♡」

「今から……
子供作るね♡」

!?

リ…リエナ…!?
なっ…なんでっ…!?

「クス…
もしこの動画見たら
どんな顔するかな…♥」

画面の中の彼女に言っても
意味がない。
今すぐ問いたださねばならないのに
画面から目が離せない

「いっせ抱きかか
好きになるだろっし…
やば…興奮してきた♥」





「んひひひひひ♡♡♡♡」

ゴニョニョ♡

「HAHA
リエナさん、イェベースが
さっきより早くいっすよ(笑)」

「うっへっ♡♡♡♡」



「気持ち良いの
からめっ♡♡♡♡」

「なにが気持ち良いんだ？
詳しく説明してみる」

っ……はめっ……はめっ……



「おぐっ♡おまんこの奥っ♡
好きなところまでピツタリ密着
してくれてるのおっ♡♡♡」

「まだ動かしてないのに
ユー君とのおままごとみたいなの
セックスよりずっと……♡♡







「トクッ♡♡♡」

「オニヰン♡♡♡」

「それゆめ♡♡♡
んひひひ♡♡♡」



「本番はこれからだぞ?」

「♡♡♡♡♡」



「そ…それじゃ…
ユー君…っ
種付けしてもらっから…♡」

「よーVBRHH…♡」





「アホな」

「SHUT UP!!
B-TCH!!」

ん
あ
あ
っ

い
ぢゅっ
♡

い
ぢゅっ
♡

い
ぢゅっ
♡

い
ぢゅっ
♡

い
ぢゅっ
♡

い
ぢゅっ
♡

い
ぢゅっ
♡

い
ぢゅっ
♡

「You feel that?!

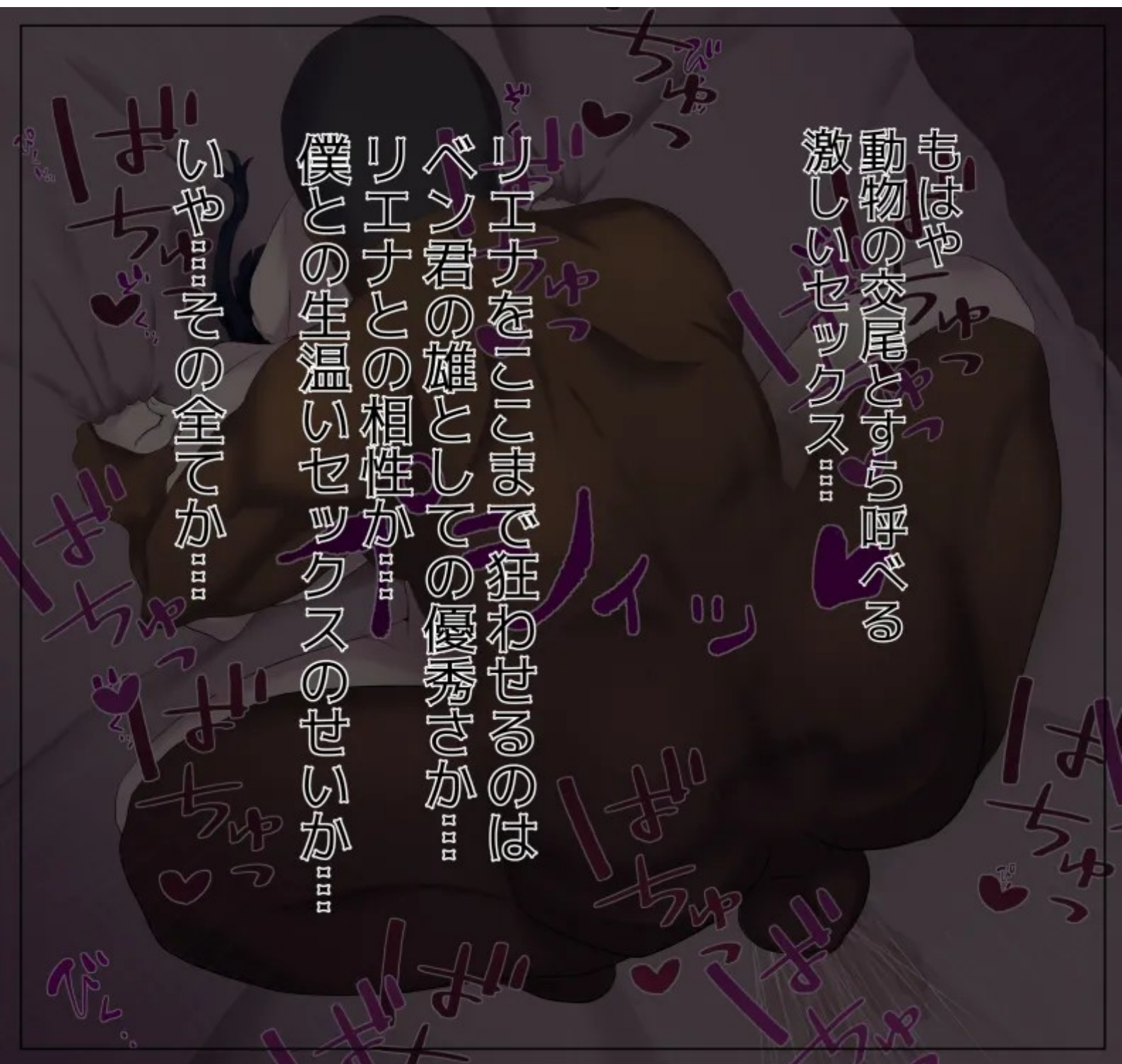
That's my fuckin' serious dick, slut!」



もはや
動物の交尾とすら呼べる
激しいセックス…

リエナをここまで狂わせるのは
ベン君の雄としての優秀さが…
リエナとの相性が…
僕との生温いセックスのせいかな…

いや…その全てか…





だとしても…だとしても
たった一日の、
たった一度の寝取らせで…こんな…

おしゅわ



「You want me to cum inside you, bitch!？」

「いええええすっ♡♡♡ ぷりいいいすっ♡♡♡」





「Then pledge your undying loyalty to BBC club!」
"ならBBCクラブに忠誠を誓え"

「!!」





ま…まさか…



「捨てますっ♡♡♡♡♡
粗チン夫なんか
いらないうっ♡♡♡♡♡」

「んひいひい♡♡♡♡♡」





「あは……♡
これはもう妊娠
確定かなー……♡」

「あは、ごめんねー♡
ユー君♡
生まれてくる子供、
ベン君のだから♡」



「改めて…復讐らせに興味を
持つてくたせうが…」

「おかげでベソくんと
こんな気持ちの良いセックス
できたんだもん♡」



「あ、ベン君って言い方も
他人行儀だね…
あなた、でいつか♡」

「そういう訳で
……まだまだいっぱい
出してもらうね」♡

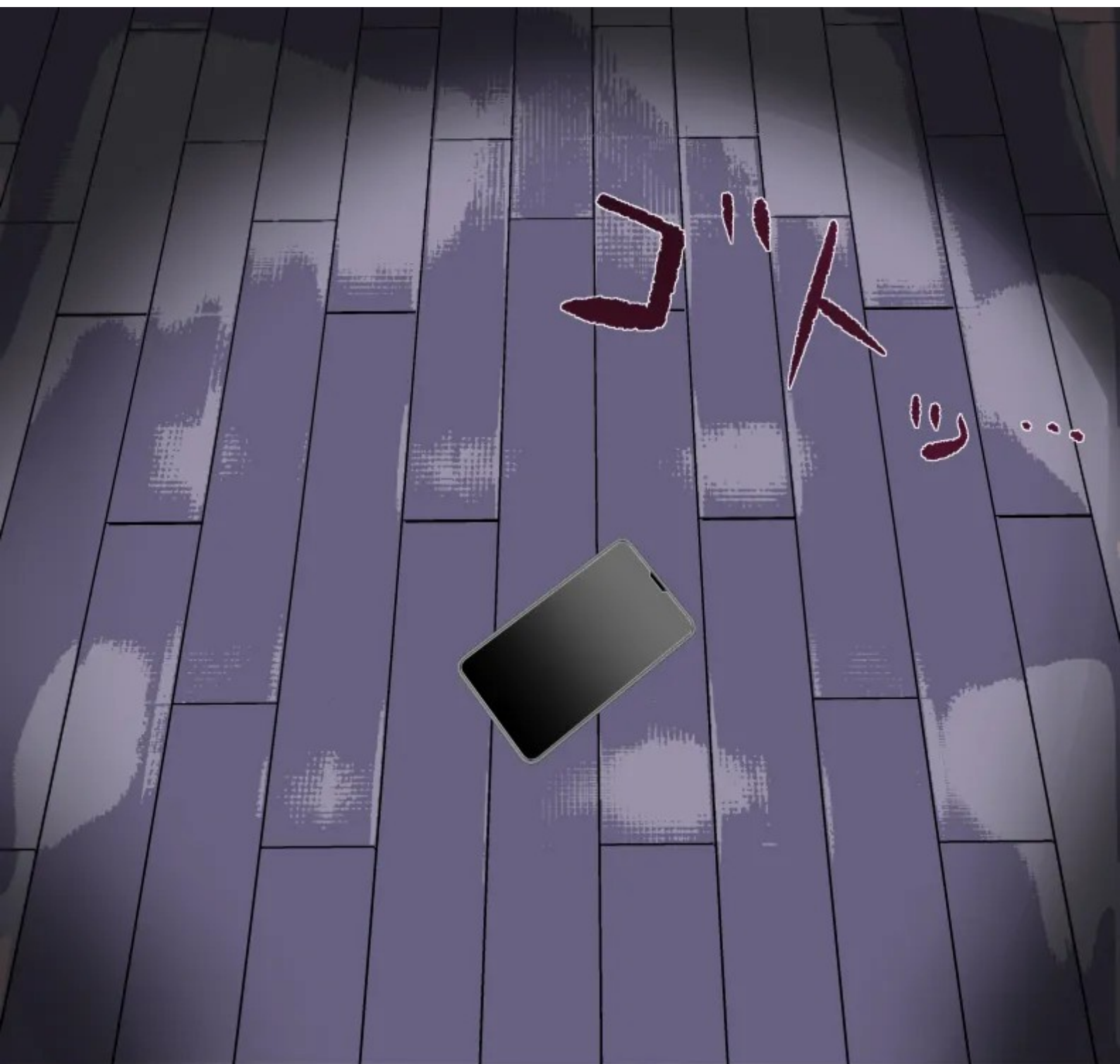
「じゃあ」



「これからBBQクラブの
一員として頑張るから…」

「楽しみにしててね、
ユー君♥」



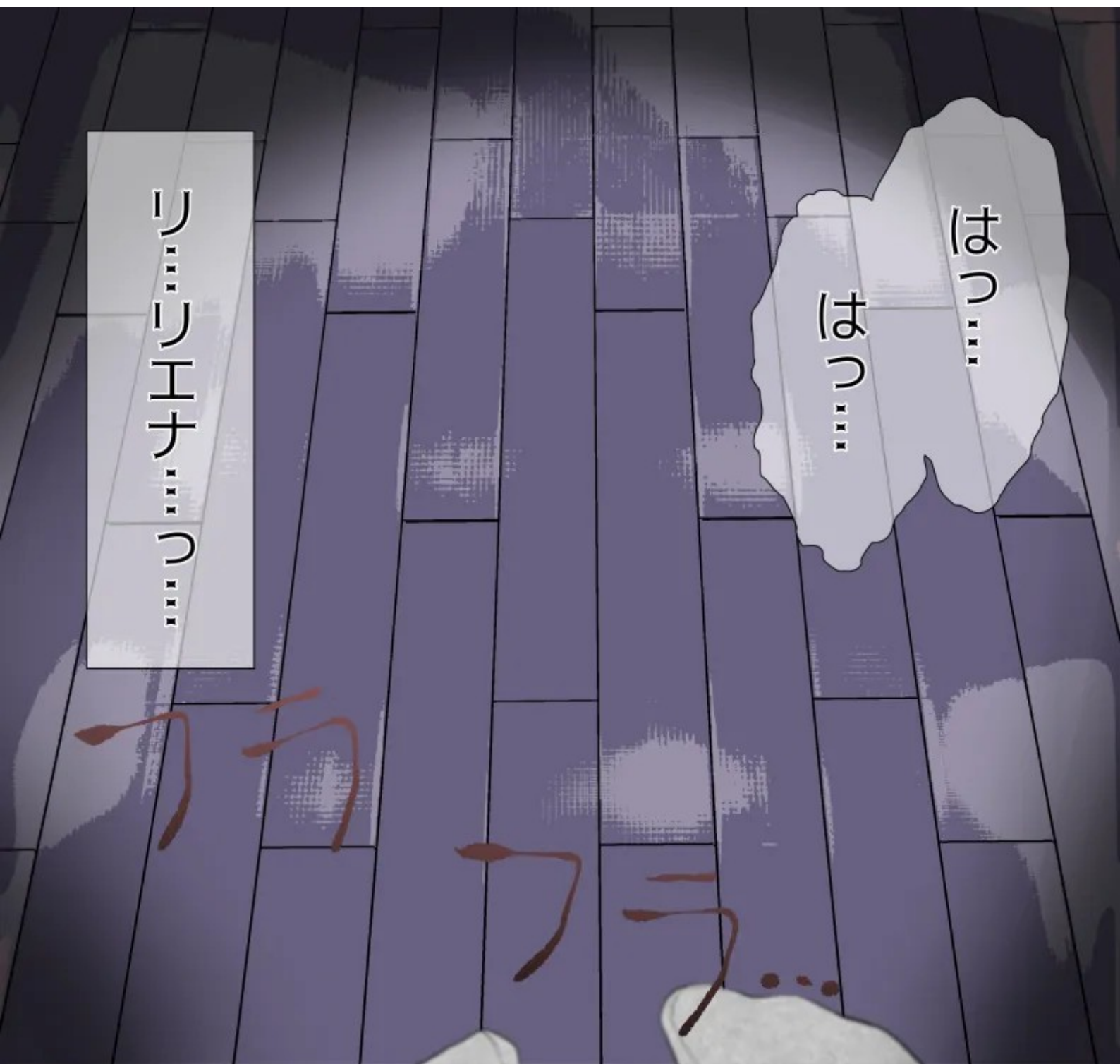


「人」
「...」

はっ…

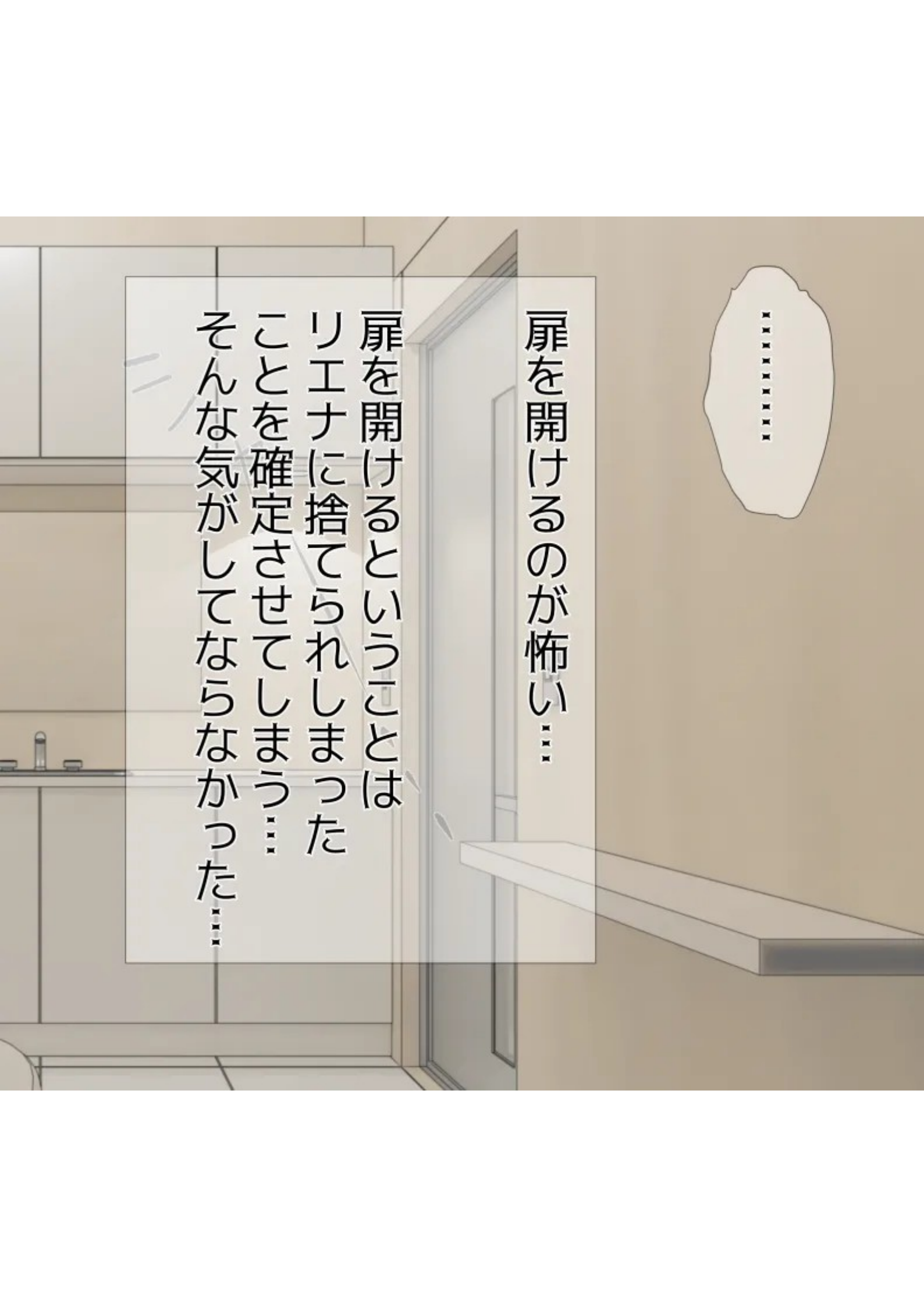
はっ…

リ…リエナ…っ…



確かめないと…
動画のこと…

っ…



扉を開けるのが怖い…

扉を開けるということは
リエナに捨てられしまった
ことを確定させてしまう…
そんな気がしてならなかった…

いやだ…
離れたくない…

寝取らせなんて
しなければ良かった。
あの時興奮しなければ、
興味を持たなければ…

足に力が
入らなくなり
身体がうずくまる…

力を失う身体に反して
僕のペニスは痛いほど
硬さを帯びていた。

「今すぐにでも

リエナとあの動画のようにしたい」

そう思ったびに、自分では不可能という
強烈な無力感と寝取らせた
興奮に押しつぶされるようだった。

そして…

最初のビデオ通話の時と同じように
視界が暗がり始める。



ちよつと……大丈夫？



遅いと思ったら
蹲っちゃってるし…
どうしたの？

はっ…
はっ…
リエナ…

リエナに心情を吐露した…



ふん…
怖くなっちゃったんだ
捨てられるかもって

ふん…
怖くなっちゃったんだ
捨てられるかもって

う...うん...う...

今すぐに否定してほしかった。
だがリエナは見透かしたように
ニヤニヤと
挑発的な笑みを浮かべるだけ……



真偽を聞くのが怖い
しかし聞かないといけない……
精一杯口を
開こうとしたその時だった

……今、私の胸に
ついてると思うっ？

!?

実はさ……
もう最後の方とか
記憶がないくらい
激しくてさ……♡



氣絶してた時に

タトゥー、
入れられてるかもね♡

っっ……！



確認したいならどうぞ？

ユー君♡

答えを前にして好奇心が
恐怖を上回る感覚

エロ

僕はリエナの纏うバスタオルに
手をかけ…

ア
ア
サ
...

え……？
あ……れ……

リエナの身体は
何もなかったかのよう
に
綺麗だった……



どうしたの？
鳩が豆鉄砲を
食ったような顔して♡

マ、マークは…

シャワーで
流れちゃった(笑)



ベンくんも

油性でいいって言ったのに

「旦那さんに悪いデす」…って(笑)



真面目だよね

まあだから相手に選んだんだけど

なっ…えっ…?

ん？どしたの？
…もしかして…

本気にしちゃった？

それ…は…



心外だなあゝ
私があなただを捨てて
訳ないじゃん…

いくら寝取られ好きの
短小包茎早漏の
ダメダメ粗チン旦那でも
好きなんだから

で、でも…！



中出しまでされて…！

あー、あれ？

ふふ
♥



あれは…
つくしゅん！

……

……湯冷めしちゃったし
もう一回入ろっか
一緒に



ふ
ゝ

.....つ

...気が気じゃないって
顔してるね...♡



…嫌いになっちゃった？
私のこと

え…

中出しを許したから

僕…僕は…



ならないよ……!



ただ……シヨックが大きくて……



シヨックと興奮、
どっちのが強かった？



それは…シヨックの方が
強いと…思う…
僕のこと捨てるとも言ってたし…

その割にはおちんちん
ぴこぴこさせてるね(笑)

っ…っ
でっでっ…っ



離れるのは…いやだ…



他の男に中出しを許しても…
嫌いになんてなれない…から…

……あれ……？結婚して
2年も経ってるのに
慣れないな……？

ボン

ボン

あー……もう……
こういうのには
弱いなく私……



これ、見て

一応言っとくけど
ちゃんと洗ってきて
から持ち帰ったから！



これって…

え……これ……
コ、コンドーム……？

量多……ってそうじゃないくて……
どういう……

最後の動画では使ってたの

え!!



ベン君に提案されたの

最後の動画は
アングルの的にベン君のオチンチンが
見えないから
こういう**悪戯**ができるって

それで重度の寝取られマゾ

だった場合

見せてあげようかなって

ふふ、効果テキメン
だったみたい(笑)



じゃ、じゃあ…中出しは…

されてないよ
安心した？



緊張が解け一気に
身体の力が抜けていく

ちよつと……大丈夫？

あ、安心したら
力が抜けちゃって……



そっか…良かった…

…ちよつと
オチンチンの力まで
抜けなくていいんだけど？

あっ…これは…



…♡

でも生ではシちゃったな♡
ユー君にもさせたことなかったのに♡

っ…！

さっきはボーツとしてたからって
言っただけだね、実は事前に
決めてたんだよ？♡



ベン君にね、
準備してたゴムを後輩に
横取りされちゃったって言われて



今日はやめましようって言われてた
けど...

デカチン、
試したくなっちゃって♡



ベン君のクラブも
性病検査も徹底してるから
いいやつて思ったの♡

そ、それじゃ…生は…

…私の意思♥



あーあ、さっきのゴムも
信憑性無くなっちゃったね〜
♡





脅されたわけでも
仕方なかったわけでもなく…

自分の意思で生ハメしてきた
浮気妻に何もしないの？





ふふ、見過ぎだよ変態♥
来るのが遅かったからもう
洗い流しちゃったよ? ♥

まあ
じっくり見れば…
洗いきれなかった
ナニかが見つかるかもね?

それが

精一杯おつきくした
その**粗チン**で

掻き出せるなら…ね♡





っ…リエナっ…!!

ガッ
ニ
ツレ

あんっ
♥

ゴ…ゴム取ってこないと…

ん？生でいいよ？

グッ

だってただでさえ低いカリが
ゴムのせいで機能しなく
なっちゃいそうだもん(笑)

っ…！



ふふ♥初めての生ハメだね♥
どう?感想は?♥

っ…
き、気持ち良い…っ…
ぞくぞく…

リエナは余裕の笑みで…
まるで僕のペニスなど
挿入^はっていないかのようにだった…



ほら、動いて♡

……うん、うん……！

はい

うん

うん

おっ！

おっ！





こ、これが生ハメっ…
ヒダ一枚一枚が…っ

絡み…ついて…
くるっ…

ぞく…

ふふ♡…でもね

本来ならもっと

気持ち良かったと思ってる

あなた真面目だから
ずっとゴムだったもんね♡

本当に挿入れた時点で
漏らしちゃうくらい
気持ち良かったかものにな……
ベン君に拡張されちゃった……♡♡





ぷっ

何その腰振り…(笑)

まさか激しくしてるつもり？
嫉妬しちゃった？

喘いだ方がいい？
ベン君の足元にも
及ばないけど♡

あんっ♡
やあくん♡
…クスクス♡





あんっ♡
あぁっ♡

イっっちゃうっ♡
クスクス♡

ふっ…
ふっ…!!

興奮で頭が
おかしくなりそうだった

一心不乱に腰を振っても
リエナの余裕を崩せないのが
さらに興奮を煽る…

リ…リエナっ……！
もっ…もう…
イっ…ぎょっ…っ

え…？まだ♡
私イってないよ？♡

このままだと本当に
ベン君のそこ
行っちゃうかもよ♡

あっ…あっ…！だめっ…
そんなこと
言われたらあっ…！





イグっ……！

んっ……♡

ゴ
ユ
ッ
ッ

はーっ…はっ…
…ごめん…僕だけ先に…

ううん、私は
あなたが満足
してくれて嬉しい

それじゃあそろそろ…
ん？





当たり前だね♡

ベン君の
ところ行っちゃうんじゃないか
って思ってるでしょ♡



硬くなった…♡

凶星みたいだね♡



リっ…リエナあつ…！

……あくまでマッスリ解消の
ためって思ってたけど…

思った以上に劇薬だったかも…

寝取られでしか興奮できない
身体になっちゃったりして

まあ

この人と永く居られるなら
それもいいか…♡

ピュッッ

愛妻[♡]と脳にやさしい(?)
寝取らせプレイ

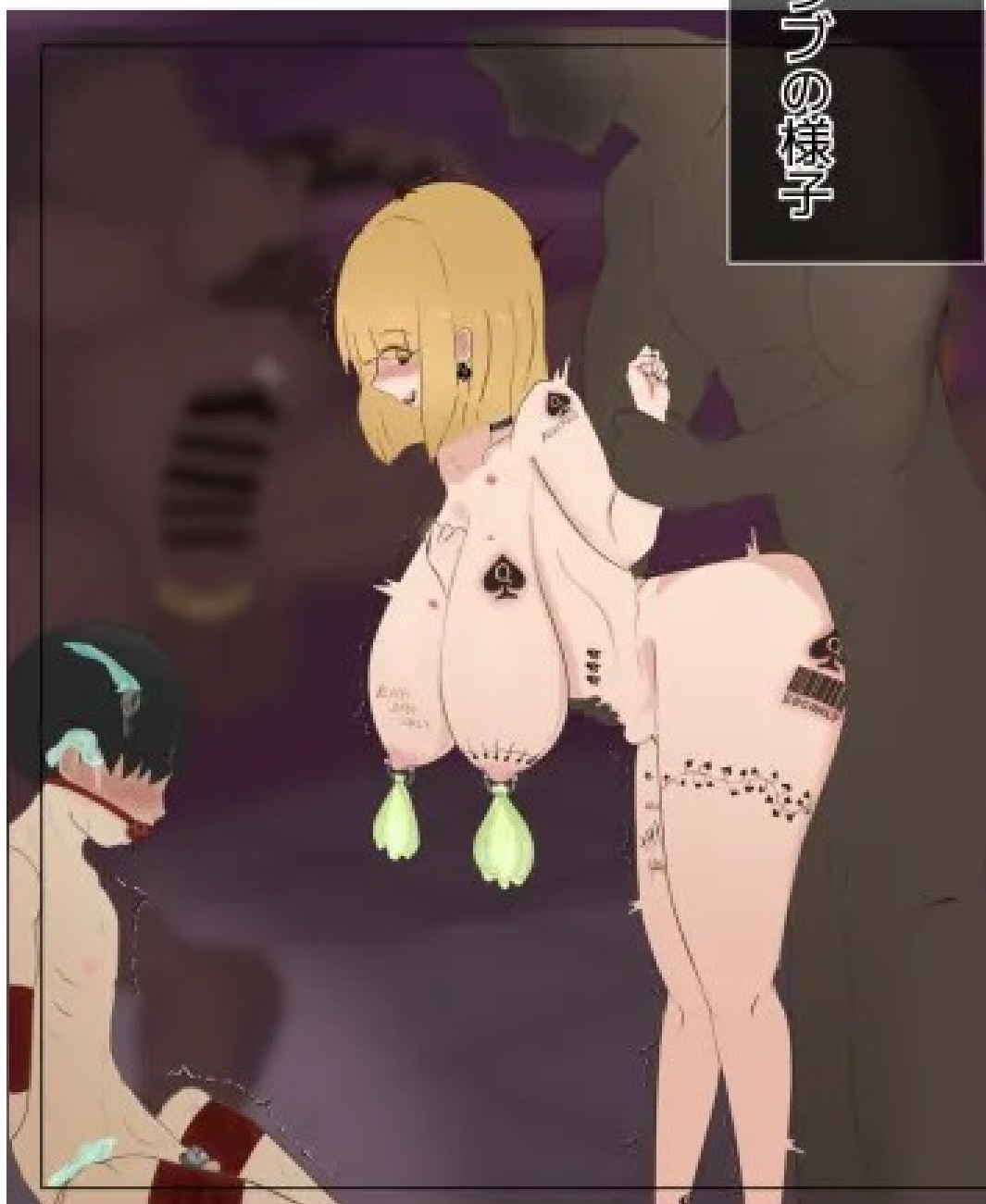
おわり

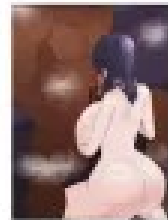


BBC CLUB

おまけ

クラブの様子

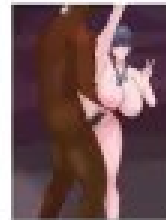








BBC CLUB





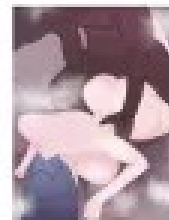
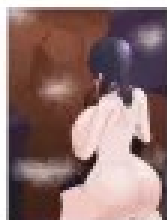
BBC CLUB





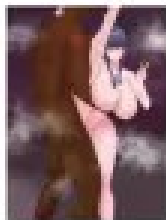
BBC CLUB







BBC CLUB



あ、新人さんですか…っ？♡
ゆっくううていっくたや…

グッ♡



写真ですか？
いいですよ♡

ほらあなたもちやんと
ポーズして♡

僕は妻を寝取られました

いえ♡



私の胸で挟めないなんて…
ほんっと大きいね…♡

HAHA、
リエナさんは大きいのが
好みですか？

ん…えへ…まあ…ね♡
ちよつとでいいから
あの人に大きさを分けて
欲しいかも(笑)





あゝ...ユー君さっきの動画で
ひびくと言ったもんね...



さっきの動画でも
この通りちゃんと
ゴムしてたから安心して
シコシコしてね...♡
愛してるよ♡





はー♡はー♡
みてユー君…♡

こんなにいっぱい射精^だして
貰^{もら}っちゃった…♡

ユー君ももっと
頑張^{がんば}ってくれないと
本気になっちゃうかもよ？♡
…なんてね(笑)



おまけ②

数週間後

ねえあなた…唐突だけど
何か気づかない？

え……？……

うーん…
何かの記念日…
ではないよね…
…
なんだろう？



…あ！指輪…？

おーよく気づいたね
さすが♥

で、どうしたの？

えっと…実はね…



寝取らせの時に…
指輪してるのがなんか嫌で…

それで外したの…？

そー…
たぶんクラブに忘れて
きちゃった



ベン君に
連絡したら
そういう忘れ物って
たくさんあるみたいで...

来て確かめて欲しい...だつてさ♡

!?



今度は一緒に行く?

ふふ、いいわね?

…そういうと思った♡

じゃあ今度は
気を失わないよう
しっかりと…ね♡

ユー君♡